

工 事 番 号							
設計年度	令和 4 年度		和田処理分区マンホールポンプ新設工事（4-1工区） 三原市 和田三丁目 仕 様 書				
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
施工内容 路線延長（汚水単独） L=48.4m 管体延長 管渠工（開削）VPφ50 L=47.0m マンホールポンプユニット N=1 基 ポンプ制御盤 N=1 面 引込開閉器盤 N=1 面 付帯工 一式							

特 記 仕 様 書

第 1 章 総則

第 1 節 適 用

- 1 本特記仕様書は、三原市和田三丁目 公共下水道事業 和田処理分区マンホールポンプ新設工事（4－1 工区）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書 令和 4 年 8 月 広島版
広島県の調達情報のページ (<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>) - 「技術管理基準等」に掲載している。
 - ・下水道土木工事必携(案) 2021 年度 公益社団法人日本下水道協会
 - ・下水道用設計指針と設計標準図 平成 26 年度改訂版 三原市
 - ・その他関連規格類

第 2 節 現場の管理

受注者は、工事現場内において、管理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

第 3 節 部分引渡し

建設工事契約約款第 38 条により、本工事の内、部分引渡しの必要が生じた場合は、当該部分の検査を受け部分引渡しを行うこと。

第 4 節 検査

土木工事共通仕様書（令和 4 年 8 月広島版）『第 3 編 1-1-8 技術検査』によるほか、三原市工事検査規程の定めるところによる。

また、『第 1 編 1-2-12 工事完成検査』に規定する工期終期日の 13 日前（工期の終期日の 13 日前が土曜日、日曜日、祝日等に当たる場合は、その前日）までに工事完成するとともに、監督員を通じて発注者に対し、工事完成通知書を提出するものとする。

第 5 節 情報共有システム（設計金額 500 万円以上が対象）

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報交換システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。

広島県工事中情報共有システム

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>

- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は工事成果品 1 部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第 6 節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第 5 4 条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第7節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』
 - (2) 上記(1)の内容について『不測の事態等が生じた場合の対応方法』
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について『現場作業に従事する者に対する周知の方法』
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第 2 章 施工条件

第 1 節 工 程

1 施工時期・時間の制限

時 期	全工事期間
時 間	８：３０～１７：００

2 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目	地下埋設物
------	-------

調査時期	工事施工前に試掘を行うこと。
------	----------------

（部分的に給水管の支障が発生することを見込んでいます。支障物が発見された場合は業者間移設とし、設計変更の対象とする。）

移設時期	必要に応じて、別途協議するものとする。
------	---------------------

提出書類	「試掘結果報告書」として、提出するものとする。また、提出部数については監督員の指示によるものとする。
------	--

第２節 用 地

1 工事用機資材の仮置き

場 所	指定しない
-----	-------

期 間	指定しない
-----	-------

保管方法	指定しない
------	-------

2 維持管理	受注者は、発注者から使用承認あるいは提供を受けた工事用地等は、善良なる管理者の注意をもって維持・管理するものとする。
--------	--

3 用地の使用制限	受注者は、提供を受けた用地を工事用仮設物等の用地以外の目的に使用してはならない。
-----------	--

第３節 公害対策

1 事前・事後調査

調査区分	事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。
------	--

調査時期	施工前・施工中・施工後（１ヶ月以内）
------	--------------------

調査内容	柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況
------	-----------------------

範 囲	別途協議による。
-----	----------

第４節 安全対策

1 交通誘導員・保安要員

工事作業期間中の交通誘導員は、開削工事２（人／日）を見込んでいる。

第5節 工事用道路

1 一般道路

搬入経路 特に指定しない。

使用期間 全工事期間

使用時間 8：30～17：00

工事中・後の処置 随時 清掃， 工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

第6節 建設副産物

1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は，公の関与する埋立地，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また，搬出先として，運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって，正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお，工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は，発注者と受注者が協議するものとする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において 300m² 以上の面積で保管する場合には，保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また，届出事項を変更する場合は事前に変更届を，保管をやめたときは 30 日以内に廃止届を提出すること。

ただし，産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第7節 仮設工

湧水等により，見込んでいる仮設工法が適さない場合や適用できない場合は，任意仮設についても設計変更することができる。

ただし，変更しようとする者は，見込んでいる仮設工法が適用できない根拠を文書等に示すとともに，適した仮設工法の仕様や構造計算書等を添付し，監督員と協議すること。

第8節 その他

1 法定外の労災保険の付保

- (1) 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- (2) 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- (3) 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書(令和3年8月広島版)『第1編 1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型(第2次基準値)以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し(保険以外の場合はそれに代わるもの)を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

第5章 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等(以下「工事損失」という。)が発生した場合においては、次のとおりとする。

なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

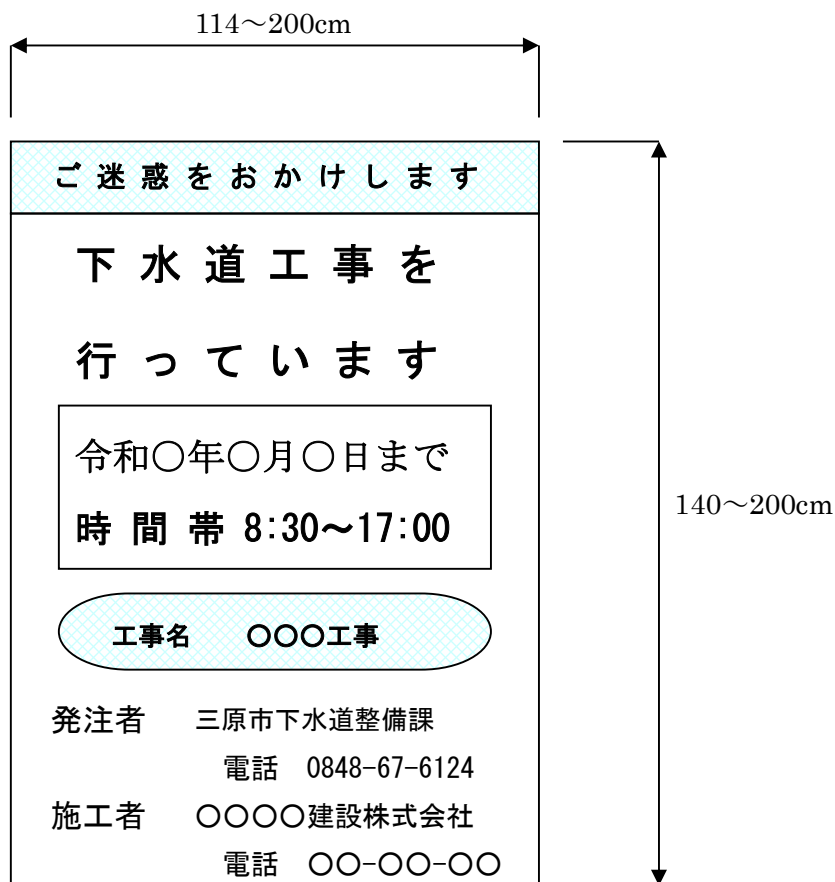
- (1) 原因調査 監督員と協力して行なうものとする。
- (2) 補償交渉 監督員と協力して処理解決に当るものとする。

- | | |
|--------------|---|
| (3) 応急処置 | 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急処置を講ずるものとする。 |
| (4) 補償費用負担割合 | 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金額の100分の1を超える額を負担する。 |

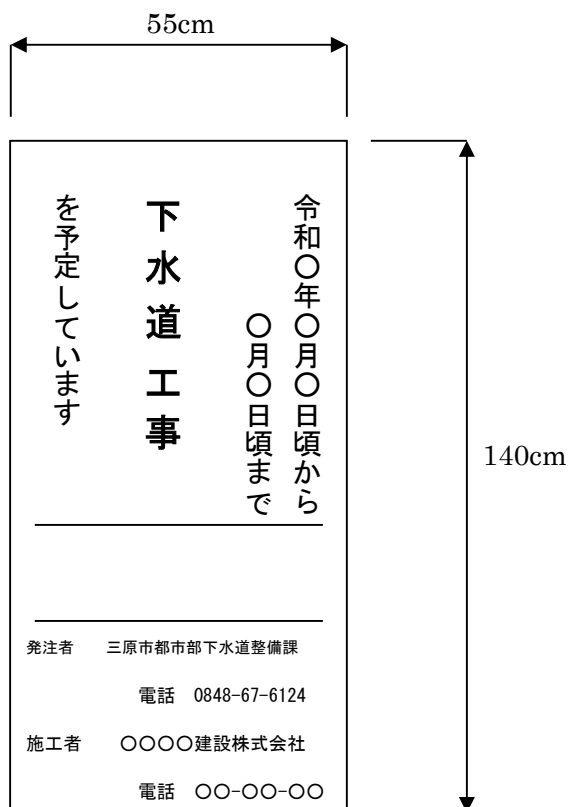
第6章 その他

本工事内及び近接する地域住民，企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで，苦情やトラブルのないよう施工に努めること。
また，特記仕様書及び設計図書に明示していない事項，または，その内容に疑義が生じた場合は，監督員の指示を受けること。

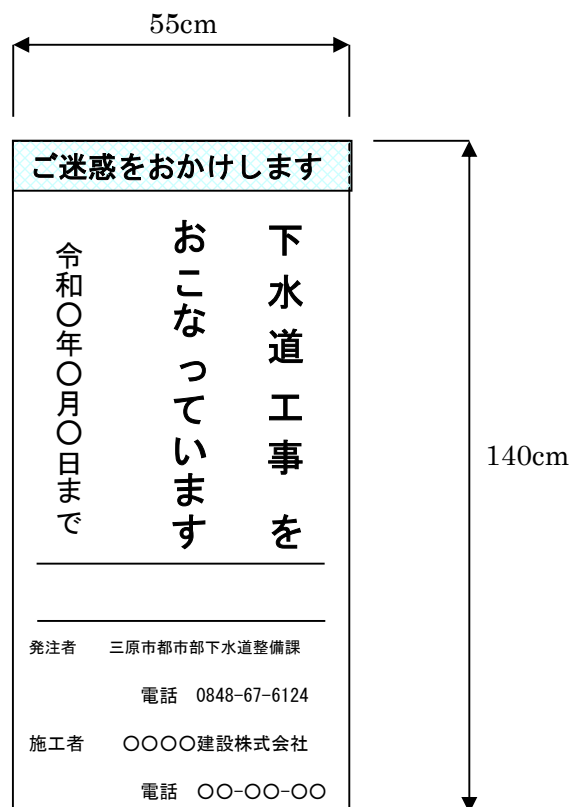
【工事標示板】



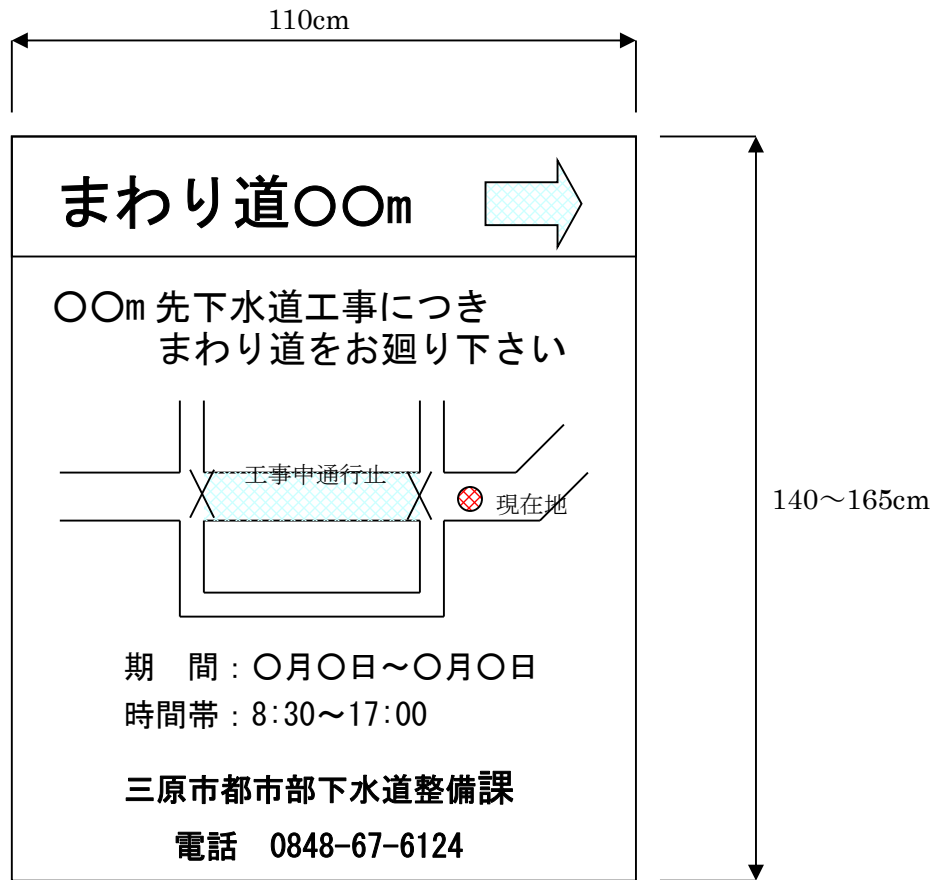
【工事情報看板】



【工事説明看板】



【まわり道案内表示板】



特記仕様書 機械電気編

第1章 総則

1. 適用範囲

本特記仕様書は、三原市和田三丁目 公共下水道事業 和田処理分区マンホールポンプ新設工事（4-1工区）のマンホールポンプユニット及び制御盤の製作、設置工事に適用する。

2. 使用目的

本マンホールポンプユニットは地下埋設し、下水を一時的に貯留し、ポンプ圧送することを目的とする。

3. 一般事項

- (1) 本特記仕様書は、三原市に設置するマンホールポンプユニット設備に適用するもので、本特記仕様書、設計図面に基づきこれらに記載された機器類を製作して、監督員による運転性能試験又は製作工場の社内運転性能試験を実施し、書類審査並びに運転性能試験に合格した後、現地搬入とする。
- (2) 本特記仕様書に特に定めていない事項については、監督員との打合せによるものとする。
- (3) 工事施工に必要な関係官公庁、その他の者に対する諸手続は、監督員の承諾を得、受注者において迅速に処理するものとする。

4. 施工範囲

本工事の施工は、上記の設計、製作、据付、配管、配線工事並びに試運転、調整、予備運転までとする。

5. 施工上の留意事項

機器の設計、製作に際しては、十分現地調査を行うと共に監督員と協議の上、施工すること。

6. 納品図書

納品図書は、マンホールポンプ選定計算書（容量選定、水位高及び容量根拠明示のこと・ポンプ能力選定）、ユニット強度計算書、ユニット強度試験成績書、ユニット製作仕様書、制御盤図、電気結線図、ユニット試験成績書、制御盤試験成績書、試運転記録書、及びその他の必要な書類・図面を各3部（返却用1部を含む）提出するものとする。

7. 検査

製作工場において、マンホールポンプユニットは内部に配管等を組込完成後、水圧試験、性能試験を実施し、制御盤は耐圧試験、動作試験を実施する。設置後は現地において総合試運転を実施し、正常な運転が行われていることを確認するものとする。

8. 材料保管

工事の竣工までの機器、材料の保管の責任は受注者にあるものとする。

9. 保証期間

- (1) 機器の保証期間は規定による引渡を受けた日から2年間とする。
- (2) 保証期間内に明らかに受注者の設計、製作、施工の不備に起因する故障が生じた場合は、受注者の責任において直ちに修理又は取替をしなければならない。

第2章 機器類

1. ユニット本体

(1) 仕様

型 式	着脱式マンホールユニット
容 量	選定計算及び設置条件を充たす容量とする
寸 法	幅 580 mm×長さ 990 mm×1300 mm高

(2) ユニット本体強度

T-14以上の強度を有する。

(3) 構造概要

① 構造

本ユニット本体は、漏水・不明水を避ける為、分割躯体を避け、タンク内にポンプ・内部配管等を組込完成させた一体成型とする。

また、浮上防止機能を有するリブ型外型とする。

② 材質

不透性・腐食性を有し、軽量化及び耐久性（耐硫化水素ガス）を確保する為、P V F R製とする。

③ 流入口

VU100の受け口を設ける。

④ 圧送口

50A フランジ付きとする。

⑤ 逆止弁・仕切弁

50A SUS製のボール式とする。

⑥ 空気抜き弁

20AのSUS製のボール式とする。

⑦ 点検口

φ600で公道マンホール取付用のフランジを設け、三原市型のマンホール蓋を設置するものとする。

⑧ その他

付属品等は監督員と打ち合わせの上決定し、宅内マンホールポンプユニットに付帯する。

内部配管は、維持管理上、問題のないよう要所で分解可能な構造とする。

2. ユニット内蔵ポンプ

(1) 仕様

- ① 形式 着脱式水中汚水汚物ポンプ 2台
(渦流式〔ボルテックス〕ポンプ)

- ② 口径 50mm (異物の通過粒径は70% (35mm)) 以上とする。

(2) ポンプ能力

ポンプは、ポンプ選定指針に基づき、計画汚水量を十分に揚水できる能力のポンプを選定する。

(3) 構造概要

① 構造

本ポンプは、汚水を揚水するもので水中において連続運転に耐え騒音や振動がなく、円滑に運転できると共に、特に有害なキャビテーション現象が発生しないような堅ろう構造とすること。

② ケーシング

ポンプケーシングは、内部圧力及び振動等に対する機械的強度並びに、腐食、磨耗を考慮した良質の製品とする。また、ケーシングは、分解・組立が容易であるものとする。

③ 羽根車

ポンプ羽根車は、良質強靱なる製品とし固形物の混入に対して堅ろうで詰まり難い構造とし、バランスが充分に取れ、回転時に振動、騒音を引き起こす原因にならない構造とすると共に表面を滑らかに仕上げる。

④ 主軸

主軸は、電動機軸を延長したもので、伝達トルク及び振り振動に対して十分な強度を有すること。

⑤ 軸受

回転部重量及び水力スラストは、電動機に内装した軸受けにて支持するものとし長時間の連続運転に耐え円滑な自己潤滑ができる構造とする。

⑥ 軸封装置

軸封部は、メカニカルシールを用い運転中、停止中を問わず異物がモーター内に浸入しないように軸封油（潤滑油）を密封した二段構造とする。またシールの取替は、容易な構造とする。

⑦ その他

配管との接続フランジ寸法は、J I S規格又は水道規格とする。

3. 制御盤

(1) 制御盤仕様及び数量

① 形 式 屋外装柱型

② 材 質 鋼板製

③ 塗 装 5 Y 7 / 1

(2) 盤の主要構造材は、収納機器の重量、作動による衝撃などに充分耐える高度を有するものとする。

(3) ドアには市指定の鍵を設ける。

(4) 屋外型は防雨性を有し雨水のたまらない構造とする。

(5) 盤類の形状及び寸法は、設計図を参照し、納品図書において決定するものとする。

(6) 盤内に自動・手動・停止と単独・交互の切換スイッチを設ける。

(7) 電源、運転、異常を示すランプを設ける。

(8) 盤内に電源用アレスタを設ける。

4. 水位計

水位計の種類はフロート式水位計とする。

第3章 ポンプ運転制御

1. 運転方案の概要

・ 自動	—	No. 1	No. 1 ポンプ自動運転
・ 自動	—	No. 2	No. 2 ポンプ自動運転
・ 自動	—	No. 1 + No. 2	No. 1 ・ 2 ポンプによる並列交互運転
・ 手動	—	No. 1	No. 1 ポンプ手動運転
・ 手動	—	No. 2	No. 2 ポンプ手動運転

2. 水位制御による自動運転

(1) 運転方式

①交互運転

ポンプ 2 台の内 1 台が始動し、残りの 1 台は待機する。運転中のポンプが停止水位 (LWL) まで低下すると自動停止し、再び水位の上昇により起動水位 (H1WL) に達すると、先ほど待機していたポンプが始動し、停止したポンプは待機状態に入る。以後もこれを繰り返して交互に運転を行う。

②とび越し運転

故障などにより運転順位にあるポンプが始動しない場合は、待機順位にあるポンプが始動し排水を行う。その後、停止水位 (LWL) まで低下すると自動停止する。

③並列運転

水位の上昇により並列運転水位 (H2WL) に達した場合は、待機状態にあるポンプが既に運転状態にあるポンプを追いかけて始動し、2 台の並列 (同時) 運転を行う。その後、水位が停止水位 (LWL) まで低下すると、2 台が同時に自動停止する。

④強制運転

異常高水位 (HHWL) に水位が達した場合は別回路で、2 台のポンプを強制的に始動させ、タイマー運転した後、自動停止する。

(2) 異常警報

異常高水位 (HHWL) に水位が達した時及び、ポンプ異常発生時に制御盤に設置した異常ランプが点灯し、同時にブザーと回転灯で異常を発報する。

① ポンプ過負荷

② 異常高水位 (HHWL)

③ 漏電

(3) ポンプの水位検出方法と自動運転

ユニット内に設置したフロート式水位計により、水位レベルを検出し、ポンプの自動運転を行う。検出するレベルは、次の 4 点とする。

① 異常高水位 (HHWL)

異常高水位警報を発しポンプを強制運転させる。強制運転は通常の制御回路から独立して行う。

② 並列運転水位 (H2WL)

ポンプ 2 台が並列運転。停止水位 (LWL) まで運転後に停止する。

③ 起動水位 (H1WL)

ポンプ 1 台が自動運転。停止水位 (LWL) まで運転後に停止する。

④ 停止水位 (LWL)

運転しているポンプが停止する。

(4) 異常発生時の運転方案

ポンプ異常の警報としてランプ点灯、回転警告灯で発報する。

- ① 異常高水位感知（異常を発報し、ポンプ強制運転後タイマー運転で停止する。
シーケンサ故障時はフロート振幅間で停止する。）

- ② 過負荷、漏電感知（異常を発報し、強制的に自動停止する。）

(5) 自動間欠運転機能

水位制御による自動運転を補うものとして、時間設定による自動間欠運転機能を有する。これは、一定時間の間隔でポンプを始動させるもので、停止水位（LWL）より水位が上昇することにより時間を刻み始め、実水位が運転開始水位（H1WL）に到達していなくても、設定された時間を過ぎるとポンプを始動させる。始動したポンプは、停止水位（LWL）まで排水して停止する。長時間ユニット内での汚水の滞留により、汚泥の沈殿、汚水の腐敗、スカムの発生をおさえる目的の為、基本的には1時間後にポンプが始動するように設定することとするが、個々のポンプの起動頻度などによっては、設定時間を変更することができるものとする。

第4章 マンホールポンプユニット据付工事

1. ユニット本体据付工事概要

- (1) 本工事の施工にあたっては、監督員の指示に従い、本仕様書及び設計図書に基づき、関係法令、規定、基準に準拠し、責任を持って施工しなければならない。さらに、作業の安全及び通行人等第三者への災害防止等についても十分に配慮し、安全対策を講じなければならない。
- (2) 機器の搬入、据付の際は、機器本体、構造物に対して損傷を与えることのないように注意すること。
- (3) 機器の据付の詳細については、施工図を提出の上、監督員の指示を受けること。
- (4) 配管工事
 - ③ 配管の接合は漏水がないように正確、確実に行なうこと。
 - ④ 配管の固定は、堅ろうに取り付けのこと。

2. 電気設備工事概要

- (1) 本工事は、マンホールポンプユニット設置に必要な電源の引き込み、ポンプ制御盤の製作、据付、電気配線工事、遠隔通信回線工事、試運転調整の一切を行なうものである。また、工事に先立って必要な関係官公庁との協議、許可申請等の手続き作業も本工事に含むものとする。
- (2) 設備工事の内容の概略は下記の通りである。
 - ① 電源の引き込み工事
 - ② ポンプ運転制御盤及び計装盤の製作・据付
 - ③ ポンプ・水位計までの電気配線工事

- ④ 試運転調整
- (3) 制御盤の据付工事
 - ⑤ 盤の据付
盤は所定の金具で壁に強固に取り付けること。
 - ⑥ 接地工事
接地工事の接地極には、接地銅板または連結式接地棒を使用し、各種接地抵抗値の基準値内になるように施工すること。
- (4) 引込受電柱の建柱
受電柱を設けなければならない場合は、建柱位置はマンホール近傍とし、建柱にあたっては監督員の指示によるものとする。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
設備工（機器費）		式		1	レベル1
ポンプ設備工		式		1	レベル2
ポンプ設備工		式		1	レベル3
設計技術費対象		式		1	レベル4
* * 機器費 * *					
設備工		式		1	レベル1
ポンプ設備工		式		1	レベル2
材料費		式		1	レベル3
直接材料費		式		1	レベル4
補助材料費		式		1	レベル4
労務費		式		1	レベル3
一般労務費		式		1	レベル4
機械設備据付労務費		式		1	レベル4
複合工費		式		1	レベル3
複合工		式		1	レベル4
直接経費		式		1	レベル3
機械経費		式		1	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
総合試運転費		式		1	レベル4
仮設費		式		1	レベル3
* * 直接工事費 * *					
準備費					
準備費		式		1	レベル2
準備費		式		1	レベル3
準備費		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
* * 共通仮設費 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
据付間接費					
* * 据付工事原価 * *					
設計技術費					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分額					
契約保証費					
* * 一般管理費計 * *					

工事数量総括表

頁0 -0003

[illegible]

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
設備工（機器費）		式		1	レベル1
電気設備工		式		1	レベル2
電気設備工		式		1	レベル3
設計技術費対象		式		1	レベル4
* * 機器費 * *					
設備工		式		1	レベル1
電気設備工		式		1	レベル2
材料費		式		1	レベル3
直接材料費		式		1	レベル4
補助材料費		式		1	レベル4
労務費		式		1	レベル3
一般労務費		式		1	レベル4
技術労務費		式		1	レベル4
複合工費		式		1	レベル3
複合工		式		1	レベル4
* * 直接工事費 * *					
準備費					

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
準備費		式		1	レベル2
準備費		式		1	レベル3
準備費		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
* * 共通仮設費 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
据付（技術者）間接費					
据付（機 器）間接費					
* * 据付工事原価 * *					
設計技術費					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分額					
契約保証費					
* * 一般管理費計 * *					
* * 工事価格計 * *					
消費税相当額					
* * 請負工事費計 * *					

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
管路施設(開削工法)		式		1	レベル1
管きょ工(開削)		式		1	レベル2
管路土工		式		1	レベル3
管路掘削		式		1	レベル4
管路埋戻		式		1	レベル4
発生土処理		式		1	レベル4
管布設工		式		1	レベル3
硬質塩化ビニル管	【VP φ 50】	m		47.0	レベル4
埋設標識テープ		m		47.0	レベル4
管基礎工		式		1	レベル3
砂基礎	【砂材料】	m		47.0	レベル4
取付管およびます工		式		1	レベル2
管路土工		式		1	レベル3
管路掘削		式		1	レベル4
管路埋戻		式		1	レベル4
発生土処理		式		1	レベル4
ます設置工		式		1	レベル3

工事数量総括表

頁0 -0002

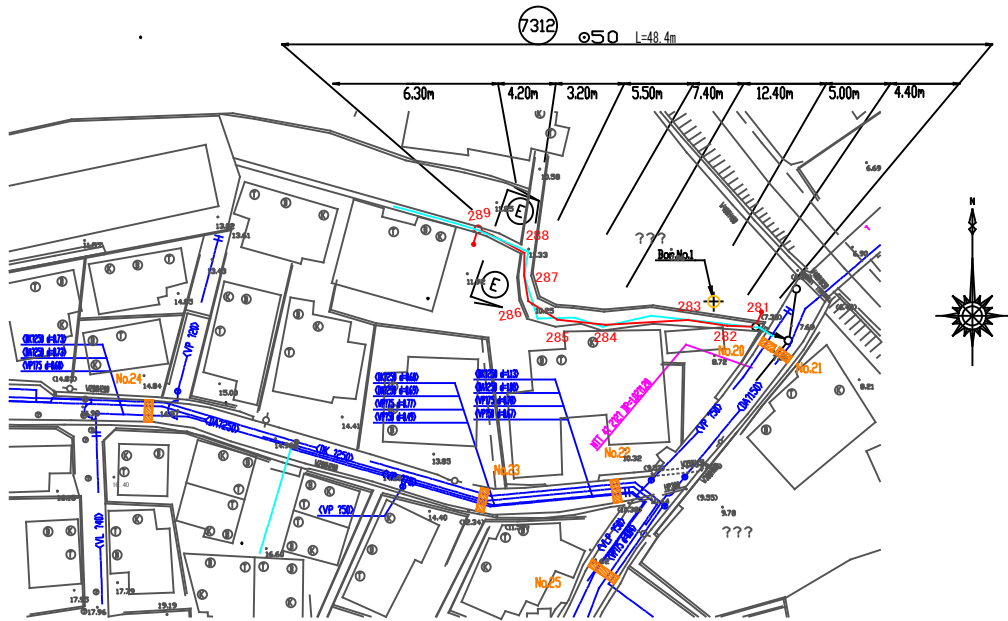
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
ます(塩化ビニル製)		箇所		1	レベル4
取付管布設工		式		1	レベル3
取付管(硬質塩化ビニル管)		箇所		1	レベル4
付帯工		式		1	レベル2
舗装撤去工		式		1	レベル3
舗装版切断		m		97	レベル4
舗装版破碎(小規模)		m2		18	レベル4
殻運搬処理	Coガラ	m3		1	レベル4
殻運搬処理	ASガラ	m3		1	レベル4
舗装復旧工		式		1	レベル3
上層路盤(歩道部)		m2		18	レベル4
コンクリート舗装		m2		18	レベル4
舗装仮復旧工		式		1	レベル3
表層(歩道部)		m2		18	レベル4
仮設工		式		1	レベル3
交通誘導員		式		1	レベル4
* * 直接工事費 * *					
共通仮設費率分					

工事数量総括表

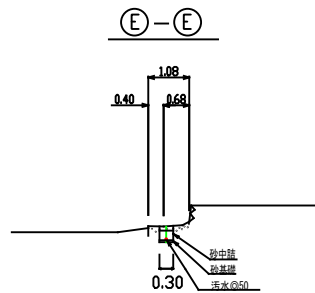
頁0 -0003

[illegible]

平面図 S=1:500

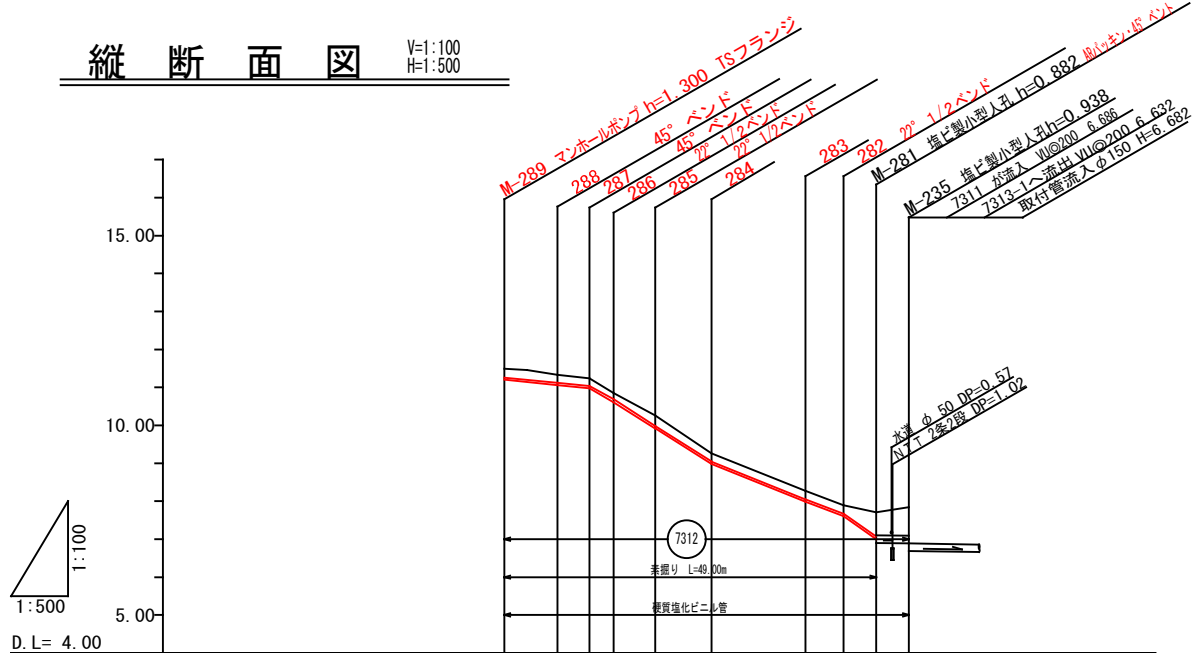


横断面図



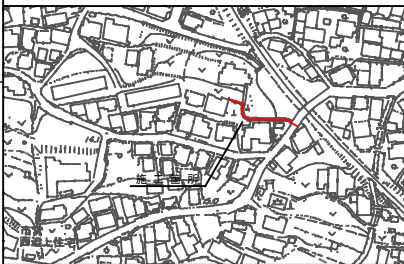
縦断面図

V=1:100
H=1:500



管 径 (mm)	φ 50									
勾 配 (%)										
区 間 距 離 (m)		6.30	4.20	3.20	5.50	7.40	12.40	5.00	4.40	4.30
地 盤 高		11.49	11.33	11.24	10.85	10.26	9.26	8.27	7.89	7.77
土 被		0.30				(0.30)		0.30	0.75	0.83
管 底 高		11.190							6.888	6.590
掘 削 深		0.40				(0.40)		0.40	(0.95)	(1.03)
追 加 距 離		0.00	6.30	10.50	13.70	19.20	26.60	39.00	44.00	48.40
区 間 距 離		0.00	6.30	4.20	3.20	5.50	7.40	12.40	5.00	4.30

施工位置図 S=1:2500

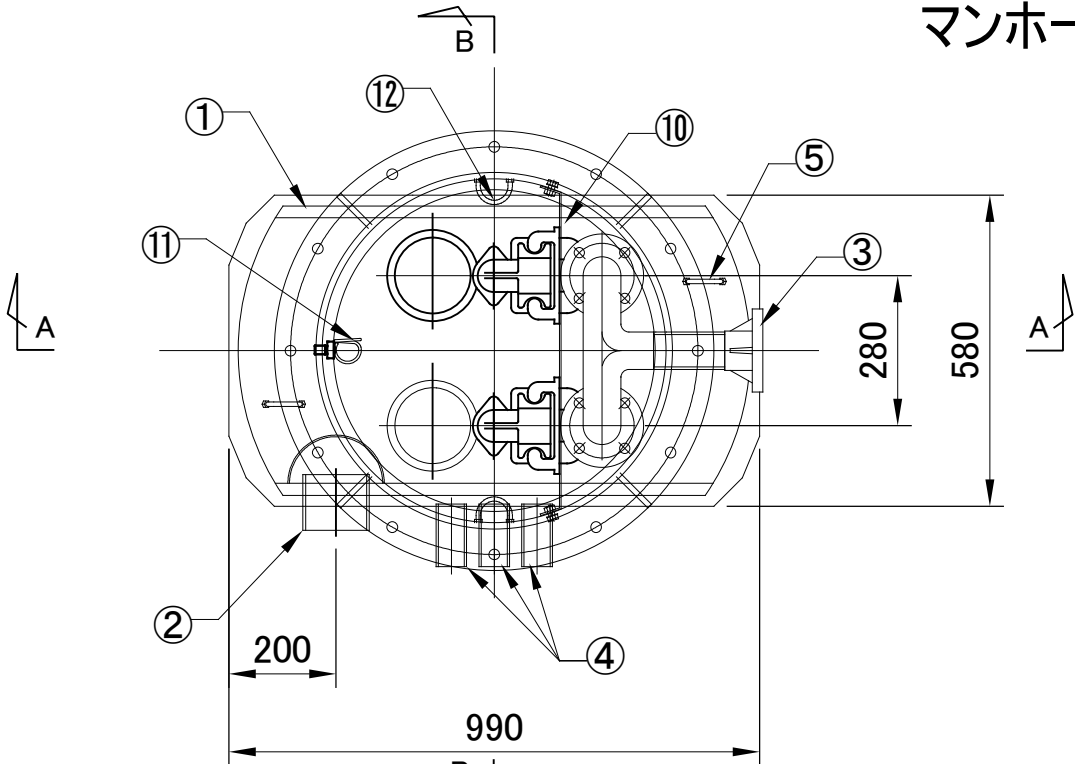


管 番 号	曲管継手箇所	管種・管径	延長	工 法
7312	281 ~ 282	VPφ 50	4.40m	開削 (")
"	282 ~ 283	VPφ 50	5.00m	開削 (")
"	283 ~ 284	VPφ 50	12.40m	開削 (")
"	284 ~ 285	VPφ 50	7.40m	開削 (")
"	285 ~ 286	VPφ 50	5.50m	開削 (")
"	286 ~ 287	VPφ 50	3.20m	開削 (")
"	287 ~ 288	VPφ 50	4.20m	開削 (")
"	288 ~ 289	VPφ 50	6.30m	開削 (")
計 8箇所				
計			48.40m	

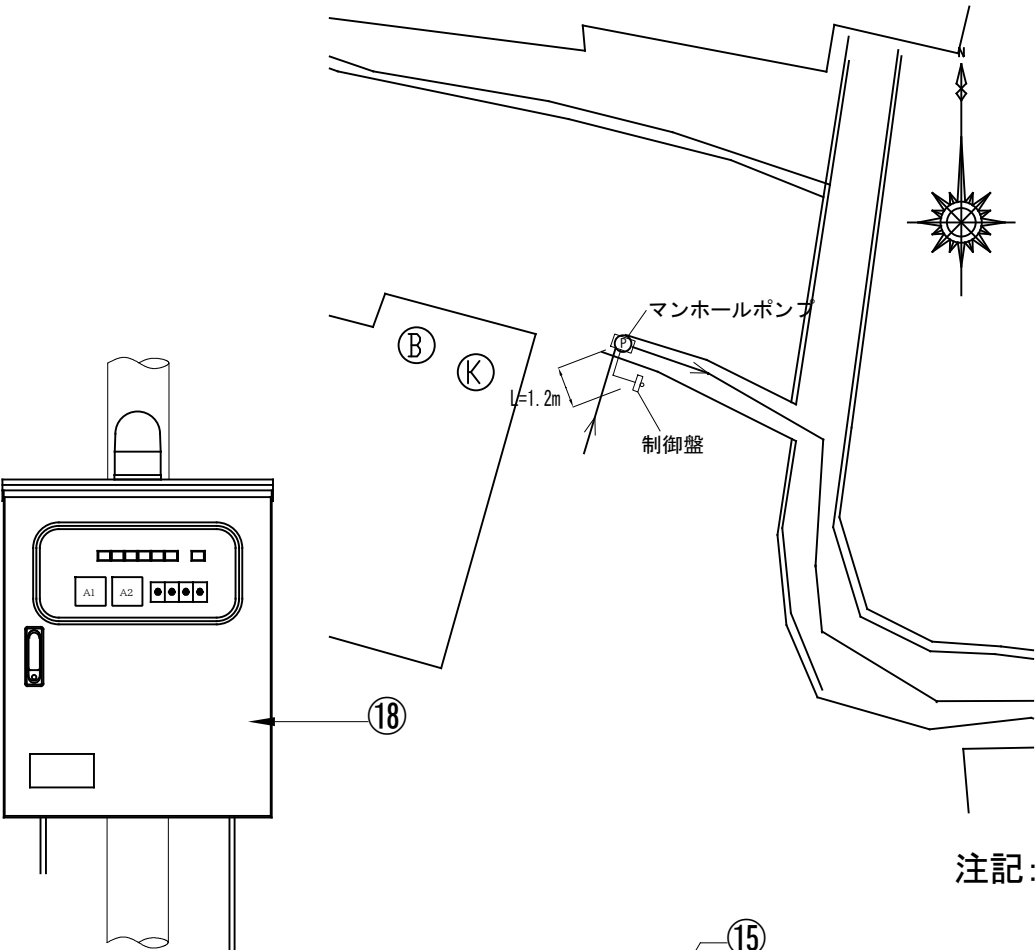
令和4年度 公共下水道事業（污水）				
工 事 名	和田処理分区マンホールポンプ 新設工事（4-1工区）			
工事場所	三原市和田三丁目			
図面番号		縮 尺		図 示
平面図・縦横断面図				
三 原 市				

マンホールポンプユニット機械設備図

平面図 (S=Free)

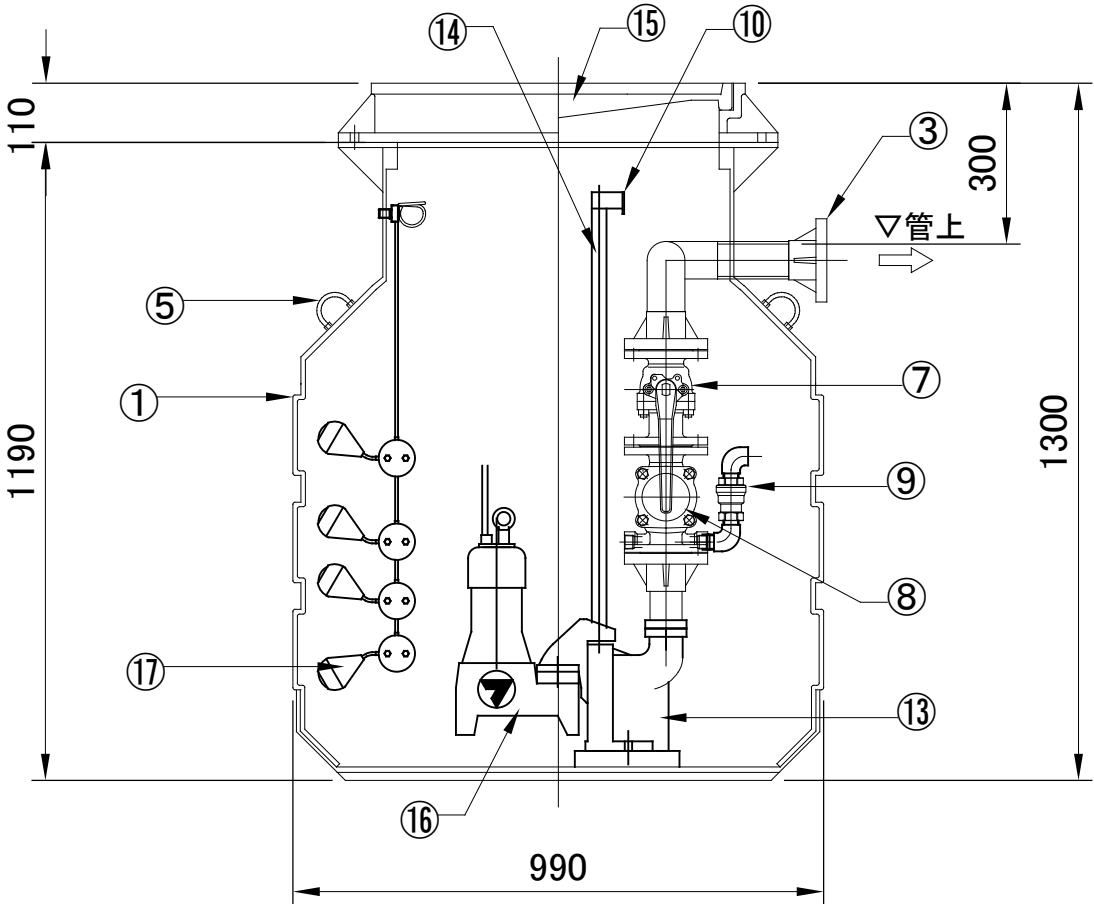


平面図

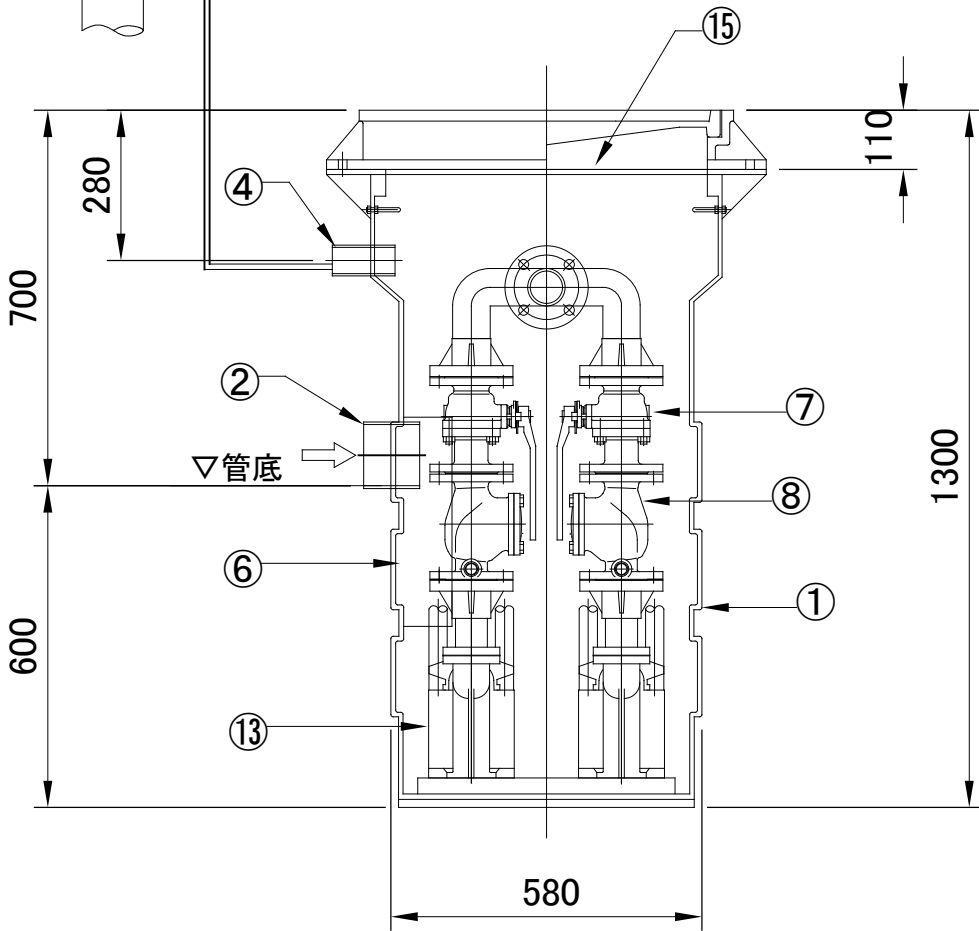


番号	名 称	規 格・材 質	個数
1	タンク本体	PVFR製	1
2	流入口	VU100	1
3	圧送口	TSフランジ50A JIS10K	1
4	ケーブル取出口	TS40	3
5	吊り金具	SUS	2
6	波動防止管	PVC	1
7	仕切弁	50A SCS製 ボールバルブ	2
8	汚物用逆止弁	50A SCS製 ボール式	2
9	エア抜き	20A SUS ボール弁	2
10	ハンガー金具	SUS製	1
11	フロート用フック	SUS製 落下防止付	1
12	チェーン用フック	SUS製	2
13	着脱装置	樹脂製	2
14	ガイドパイプ	SUS製	4
15	マンホール	Φ600 鋳物製 T-14 受けフランジ付き	1
16	汚物用水中ポンプ	樹脂/SUS ケーブル20m 1φ100V 0.4kW	2
17	フロートスイッチ	ケーブル20m	4
18	制御盤	屋外装柱型	1

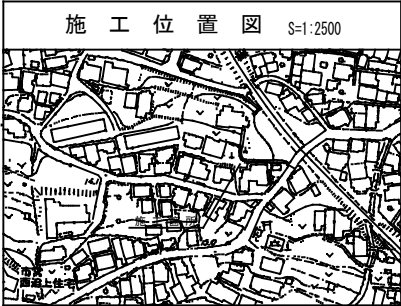
注記: 流入口、圧送口、ケーブル口の角度は平面図によります。
レベル関係は断面図によります。



A-A断面図



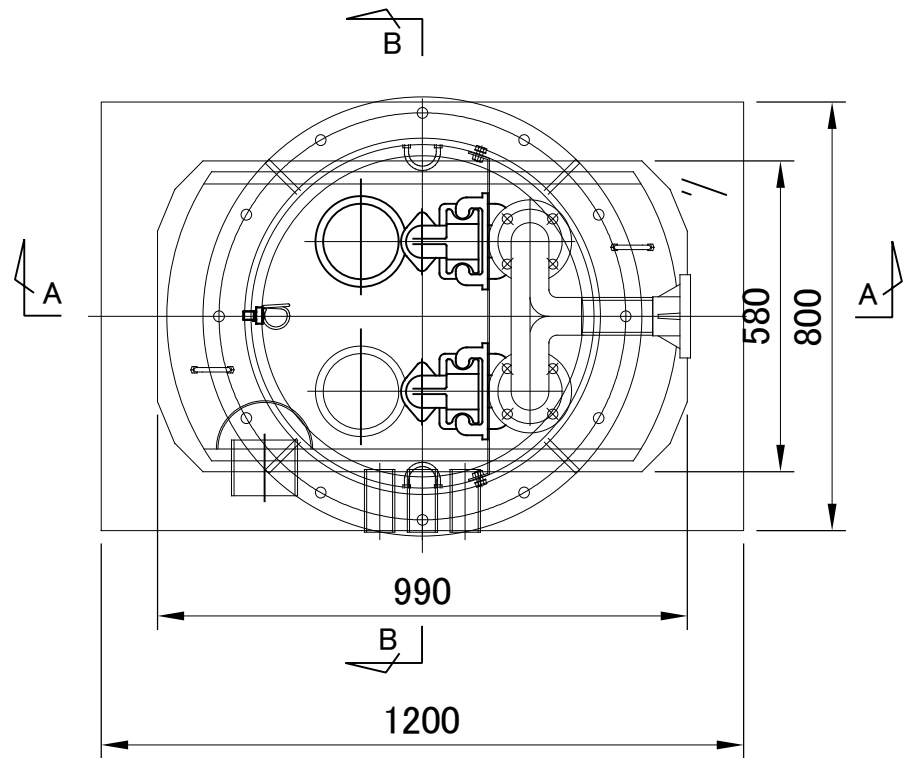
B-B断面図



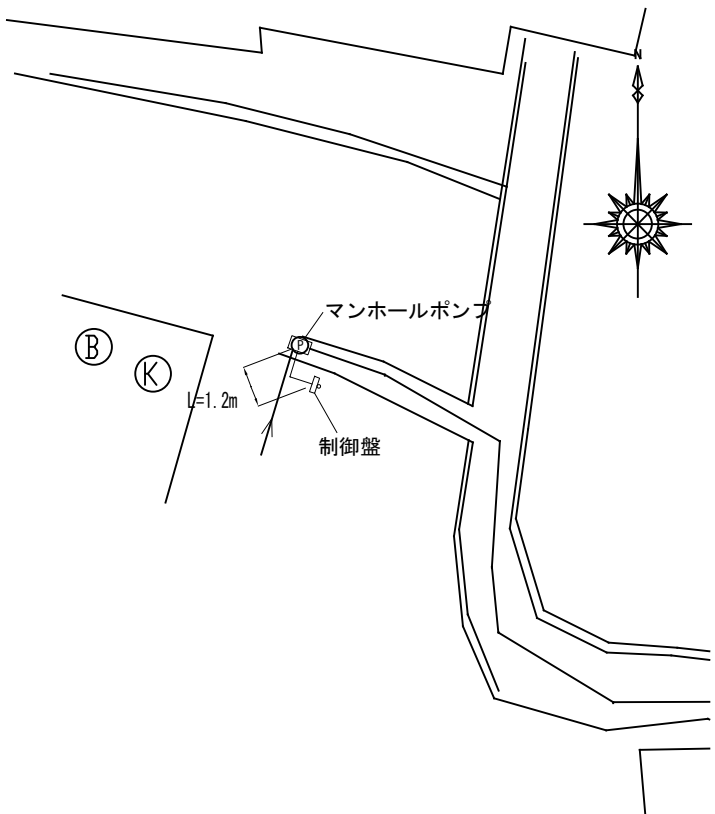
令和4年度 公共下水道事業 (汚水)			
工事名	和田処理分区 マンホールポンプ新設工事 (4-1工区)		
工事場所	三原市和田三丁目		
図面番号	縮 尺	図 示	
平面図・縦横断面図			
三 原 市			

据付平面図・断面図

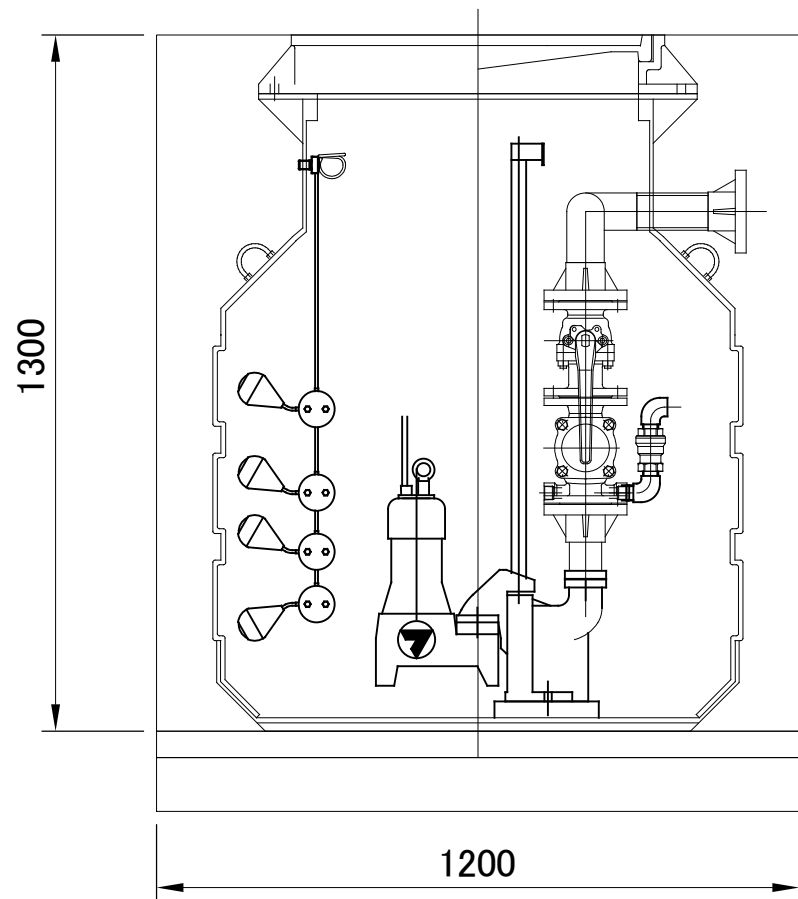
平面図



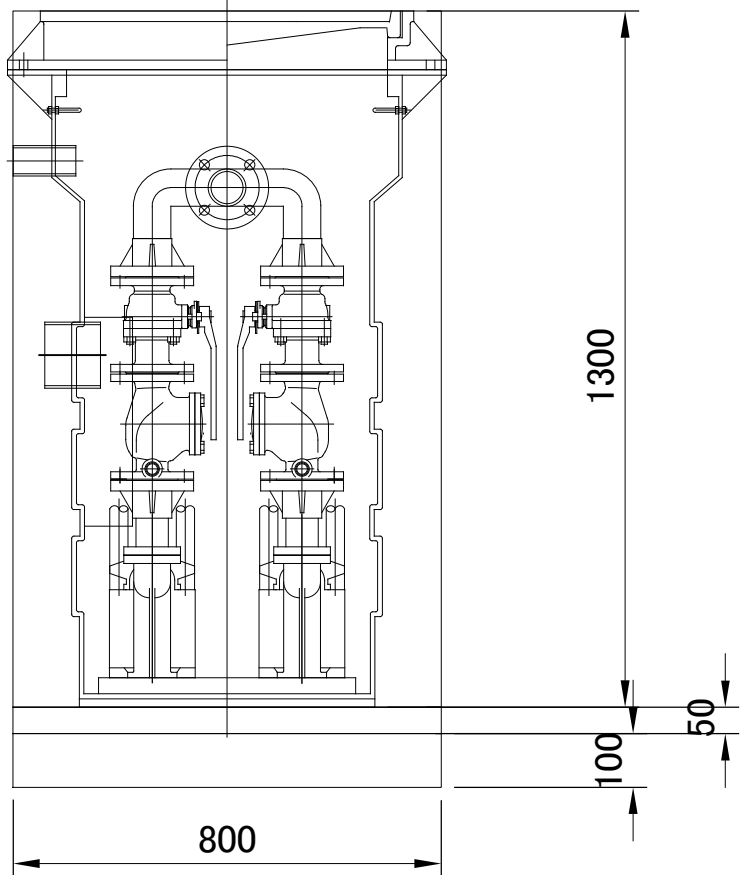
平面図 (S=Free)



A-A断面図



B-B断面図

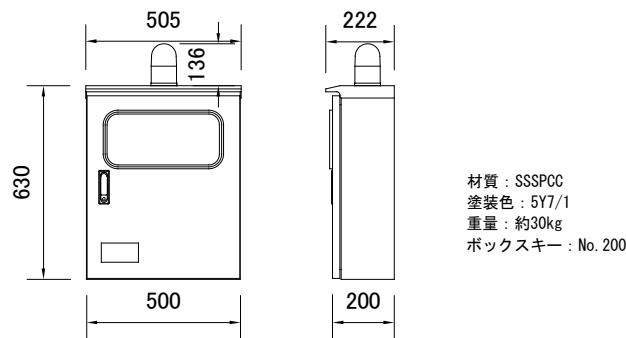


敷モルタル
基礎砕石

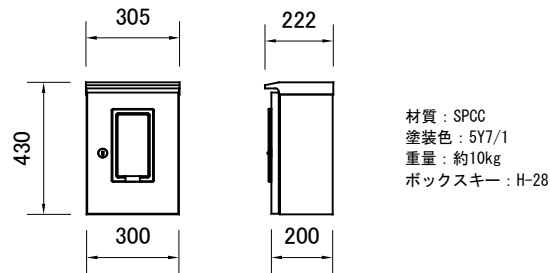
施 工 位 置 図 S=1:2500			
令和４年度 公共下水道事業（污水）			
工 事 名	和田処理分区 マンホールポンプ新設工事（4-1工区）		
工事場所	三原市和田三丁目		
図面番号		縮 尺	図 示
平面図・縦横断面図			
三 原 市			

宅内マンホールポンプ電気設備図

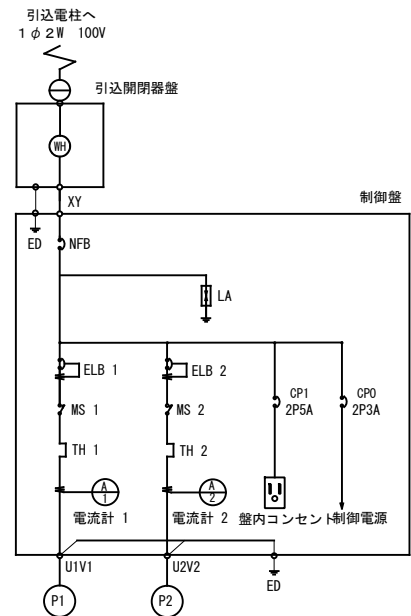
制 御 盤 (S=Free)



引込開閉器盤 (S=Free)



制 御 盤 単 線 結 線 図



記 号	名 称
NFB	ノーヒューズブレーカー
LA	アレスタ
ELB	漏電遮断器
MS	電磁接触器
CP0	サーキットプロテクタ

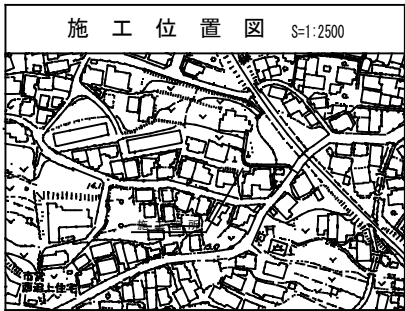
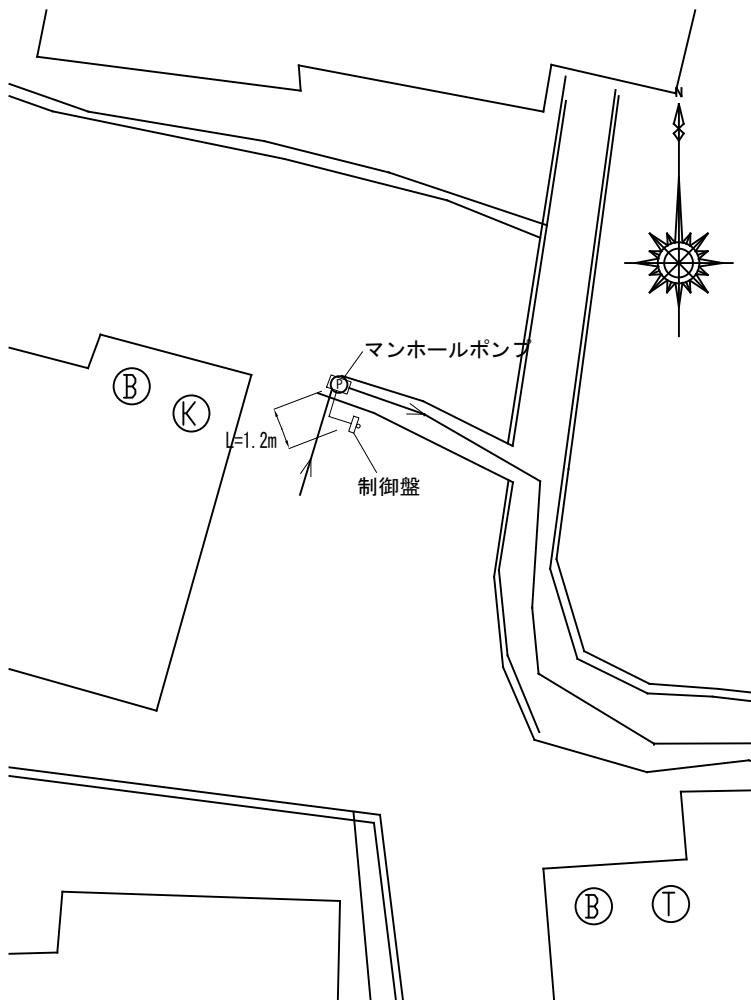
記 号	0.15 kw	0.25 kw	0.4 kw
NFB	20	20	30
ELB 1 2	10	10	15
TH 1 2	3.6	6.6	9.0

動力引込図及び動力配線図 (参考図)

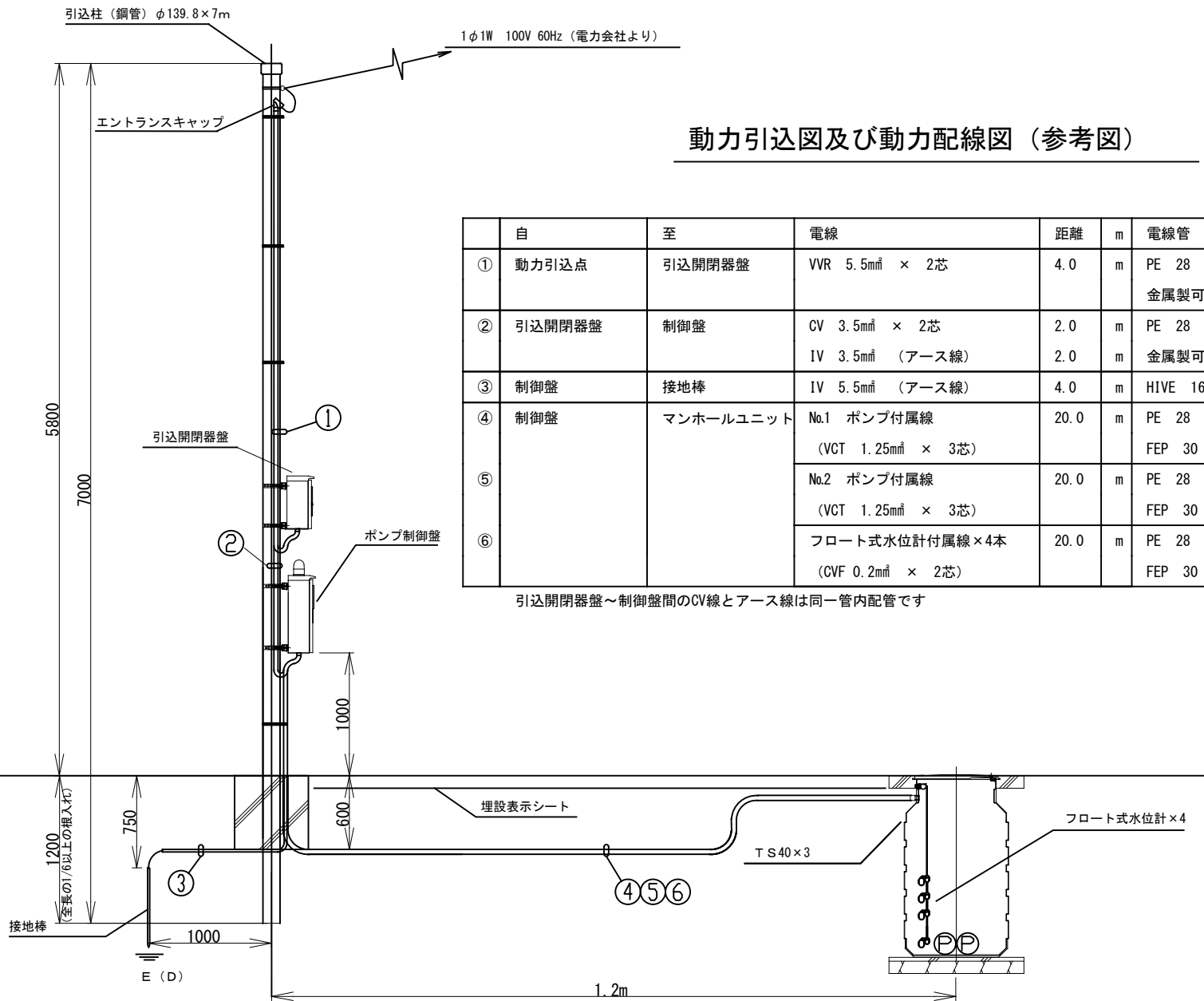
	自	至	電線	距離	m	電線管	距離	m
①	動力引込点	引込開閉器盤	VVR 5.5mm ² × 2芯	4.0	m	PE 28 金属製可とう管	3.0	m
②	引込開閉器盤	制御盤	CV 3.5mm ² × 2芯 IV 3.5mm ² (アース線)	2.0	m	PE 28 金属製可とう管	1.0	m
③	制御盤	接地棒	IV 5.5mm ² (アース線)	4.0	m	HIVE 16	1.6	m
④	制御盤	マンホールユニット	No.1 ポンプ付属線 (VCT 1.25mm ² × 3芯)	20.0	m	PE 28 FEP 30	1.0	m
⑤			No.2 ポンプ付属線 (VCT 1.25mm ² × 3芯)	20.0	m	PE 28 FEP 30	1.0	m
⑥			フロート式水位計付属線×4本 (CVF 0.2mm ² × 2芯)	20.0	m	PE 28 FEP 30	1.0	m

引込開閉器盤～制御盤間のCV線とアース線は同一管内配管です

平 面 図 (S=Free)



令和4年度 公共下水道事業 (污水)			
工 事 名	和田処理分区分 マンホールポンプ新設工事 (4-1工区)		
工事場所	三原市和田三丁目		
図面番号	縮 尺	図 示	
平面図・縦横断面図			
三 原 市			



参 考 資 料

－和田処理分区マンホールポンプ新設工事（4-1工区）－

本 工 事 費 内 訳 表

工 種	種 別	細 別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
*** 和田処理分区マンホールポンプ新設工事(4-1工区) ***							
	機械設備工事		1	式			
	消費税相当額		1	式			
	小計						
	電気設備工事		1	式			
	消費税相当額		1	式			
	小計						
	土木工事		1	式			
	消費税相当額		1	式			
	小計						

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-05.02.01(0)		凡例 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	F 下水道機械設備		
	当世代	前世代	
復興補正区分 前払金支出割合区分 週休補正区分 契約保証区分	00 補正なし 00 補正無し 00 補正なし 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
設備工（機器費）					Y1800F レベル1
ポンプ設備工	1	式			Y28003F レベル2
ポンプ設備工	1	式			Y280031F レベル3
設計技術費対象	1	式			Y48003101F レベル4
機器費	1	式			V0001 00
	1	式			単第0 -0001 表
* * 機器費 * *					
設備工					Y1900F レベル1
ポンプ設備工	1	式			Y29003F レベル2
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
材料費					Y390032F レベル3
	1	式			
直接材料費					Y49003201F レベル4
	1	式			
材料費					V0003 00
	1	式			単第0 -0002 表
補助材料費					Y49003202F レベル4
	1	式			
補助材料費（率分）					SY49202F 00
	1	式			機械設備 単第0 -0003 表
労務費					Y390033F レベル3
	1	式			
一般労務費					Y49003301F レベル4
	1	式			
一般労務費 据付					V0004 00
	1	式			単第0 -0004 表
機械設備据付労務費					Y49003302F レベル4
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械設備据付労務費					V0005 00
	1	式			単第0 -0005 表
複合工費					Y390034F レベル3
	1	式			
複合工					Y49003401F レベル4
	1	式			
複合工					V0006 00
	1	式			単第0 -0006 表
直接経費					Y390035F レベル3
	1	式			
機械経費					Y49003503F レベル4
	1	式			
機械経費（率分）					SY49503F 00
	1	式			機械設備 単第0 -0015 表
総合試運転費					Y49003504F レベル4
	1	式			
総合試運転費（率分） ポンプ設備工 ポンプ場施設					SY49504F 00
	1	式			機械設備 単第0 -0016 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設費					Y390036F レベル3
	1	式			
仮設費（率分） ポンプ設備工					SY396F 00
	1	式			機械設備 単第0 -0017 表
* * 直接工事費 * *					
準備費					Z0002
準備費					YZ902 レベル2
	1	式			
準備費					YZ902001 レベル3
	1	式			
準備費					YZ902001001レベル4
	1	式			
運搬処分費					V0007 00
	1	式			単第0 -0018 表
共通仮設費率分					Z0010

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
* * 共通仮設費 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
据付間接費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 据付工事原価 * *					
設計技術費 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分額 計算情報..... 対象額..... 率.....		機器補正率...			前払補正率... 対象額合計...

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費					
計算情報.....					
対象額.....					当初請対額
率.....					当初対象額
* * 一般管理費計 * *					
* * 工事価格計 * *					
消費税相当額					
計算情報.....					
対象額.....					
率.....					
* * 請負工事費計 * *					

施工単価表

頁0 -0008

機器費

V0001

單第0 -0001 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0009

材料費

V0003

單第0 -0002 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

補助材料費（率分）

SY49202F

單第0 -0003 表

式 当り

機械設備

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

一般勞務費
据付

V0004

單第0 -0004 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0012

機械設備据付労務費

V0005

單第0 -0005 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

複合工

V0006

単第0 -0006 表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	4	m			単第0-0007 表
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	0.07	m3			単第0-0008 表
掘削 土砂 現場制約あり	1.34	m3			単第0-0009 表
人力投入埋戻工	0.48	m3			単第0-0010 表
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	0.1	m3			単第0-0012 表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	0.2	m2			単第0-0013 表
砕石基礎工(人力施工)	0.1	m3			単第0-0014 表
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

頁0 -0014

舗装版切断

SPK22040303

単第0 -0007 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 5.01%

労務構成比:

44.29%

材料構成比: 50.70%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,074.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	3.39%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	15.33%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	6.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	48.42%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.54%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0015

鋪裝版切斷

SPK22040303

單第0 -0007 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 5.01%

勞務構成比：

44.29%

材料構成比: 50.70%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

1,074.10000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

構造物とりこわし工(無筋構造物)

SDT00031

單第0 -0008 表

人力施工

m3 当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0017

掘削

SPK22040001

單第0 -0009 表

土砂 現場制約あり

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 勞務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場單價構成比: 0.00%

標準単価：

5,616.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

人力投入埋戾工

SG1D0002001

單第0 -0010 表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0019

タンパ締固め

SPK22040021

単第0 -0011 表

1

m3 当り

機械構成比: 1.36% 労務構成比: 97.27% 材料構成比: 1.37% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,428.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg	1.36%		タンパ及びランマ 質量60～80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.37%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.37%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

コンクリート

SPK22040144

単第0 -0012 表

小型構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

49.58%

材料構成比:

50.42%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

31,762.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	30.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.77%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	50.42%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=1 現場内小運搬有り K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK22040146
均しコンクリート

単第0 -0013 表

1
標準単価:

m2 当り
4,423.80000

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
型わく工		59.46%		型わく工			RTPC00010 RTPT00010
普通作業員		19.53%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役		5.76%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
積算単価				積算単価			EP001
A=1 C=1	一般型枠 -(全ての費用)			B=5	均しコンクリート		

施工単価表

頁0 -0022

碎石基礎工(人力施工)

SG1D0020001

單第0 -0014 表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

機械經費（率分）

SY49503F

單第0 -0015 表

式 当り

機械設備

[illegible]

施工単価表

頁0 -0024

総合試運転費（率分）

SY49504F

單第0 -0016 表

ポンプ設備工

ポンプ場施設

機械設備

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

仮設費（率分）
ポンプ設備工

SY396F

單第0 -0017 表

式 当り

機械設備

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

運搬処分費

V0007

單第0 -0018 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 43.25% 労務構成比: 42.18% 材料構成比: 14.57% 市場単価構成比: 0.00%

SPK22040142
DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超)

単第0 -0019 表
1
標準単価: 1,395.60000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.57%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

施工単価表

頁0 -0028

発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)

SG1E0003002

單第0 -0020 表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

ダンプトラック運転
011 オンロード ディーゼル

SM2203010

単第0 -0021 表

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	22.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 2t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 2 t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 011 オンロード ディーゼル C=1 運転労務数量(人/日) E=1.29 機械損料数量(供用日/日)			B=1 2t積級 D=22 燃料消費量(L/日) F=1 路面状況:良好		

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-05.02.01(0)		凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	G 下水道電気設備		
	当世代	前世代	
復興係数区分 前払金支出割合区分 週休補正区分 契約保証区分	00 補正なし 00 補正無し 00 補正なし 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
設備工（機器費）					Y1800G レベル1
電気設備工	1	式			Y28001G レベル2
電気設備工	1	式			Y280011G レベル3
設計技術費対象	1	式			Y28001101G レベル4
機器費	1	式			V0001 00
	1	式			単第0 -0001 表
* * 機器費 * *					
設備工					Y1900G レベル1
電気設備工	1	式			Y29001G レベル2
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
材料費	1	式			Y390012G レベル3
直接材料費	1	式			Y49001201G レベル4
材料費	1	式			V0002 00
補助材料費	1	式			単第0 -0002 表 Y49001202G レベル4
補助材料費（率分）	1	式			SY49202G 00
労務費	1	式			電気設備 単第0 -0003 表 Y390013G レベル3
一般労務費	1	式			Y49001301G レベル4
一般労務費	1	式			V0003 00
技術労務費	1	式			単第0 -0004 表 Y49001302G レベル4
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
技術労務費					V0004 00
	1	式			単第0 -0005 表
複合工費					Y390014G レベル3
	1	式			
複合工					Y49001403G レベル4
	1	式			
複合工					V0005 00
	1	式			単第0 -0006 表
* * 直接工事費 * *					
準備費					Z0002
準備費					YZ902 レベル2
	1	式			
準備費					YZ902001 レベル3
	1	式			
準備費					YZ902001001 レベル4
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬処分費					V0007 00
	1	式			単第0 -0016 表
共通仮設費率分					Z0010
計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
* * 共通仮設費 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
据付（技術者）間接費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					
据付（機 器）間接費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
* * 据付工事原価 * *					

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
設計技術費 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分額 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率... 対象額合計...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
* * 一般管理費計 * *					
* * 工事価格計 * *					
消費税相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 請負工事費計 * *					

施工単価表

頁0 -0007

機器費

V0001

單第0 -0001 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0008

材料費

V0002

単第0 -0002 表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼管柱 φ 139.8 × 7m	1	本			
接地棒 φ 14 × 1500L	1	本			
リード端子 φ 14	1	個			
接地埋設標 黄銅製 140 × 90mm	1	個			
埋設表示シート 150mmダブル	1.2	m			
エントランスクャップ G28	1	個			
ステンレスバンド N005 φ 140	4	個			
PE管 PE28	7	m			
FPP管 FEP30	5.4	m			
HIVE管 HIVE16	1.6	m			
金属可とう管 30	2	m			
VVR 5.5 2芯	4	m			

施工単価表

頁0 -0009

材料費

V0002

單第0 -0002 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

補助材料費（率分）

SY49202G

單第0 -0003 表

式 当り

電気設備

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

一般勞務費

V0003

單第0 -0004 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0012

技術労務費

V0004

單第0 -0005 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0013

複合工

V0005

単第0 -0006 表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	2.4	m			単第0-0007 表
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	0.03	m3			単第0-0008 表
掘削 土砂 現場制約あり	0.2	m3			単第0-0009 表
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	0.21	m3			単第0-0010 表
型枠 一般型枠 小型構造物	1.44	m2			単第0-0011 表
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	3.0	m			単第0-0007 表
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	0.03	m3			単第0-0008 表
掘削 土砂 現場制約あり	0.21	m3			単第0-0009 表
人力投入埋戻工	0.17	m3			単第0-0012 表
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RM-30	0.36	m2			単第0-0014 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	0.03	m3			単第0-0015 表
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

頁0 -0014

舗装版切断
コンクリート舗装版
機械構成比: 5.01% 労務構成比: 44.29% 材料構成比: 50.70% 市場単価構成比: 0.00%

SPK22040303
コンクリート舗装版厚15cm以下

単第0 -0007 表
1 m 当り
標準単価: 1,074.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 φ 56cm	3.39%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 φ 56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	15.33%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	6.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	48.42%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.54%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0015

鋪裝版切断

SPK22040303

單第0 -0007 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 5.01%

勞務構成比：

44.29%

材料構成比: 50.70%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

1,074.10000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

構造物とりこわし工(無筋構造物)

SDT00031

單第0 -0008 表

m3 当り

人力施工

[illegible]

施工単価表

掘削
土砂 現場制約あり

SPK22040001

単第0 -0009 表

1
標準単価： m3 当り
5,616.00000

機械構成比：0.00%		労務構成比：100.00%		材料構成比：0.00%		市場単価構成比：0.00%		標準単価：5,616.00000	
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考		
普通作業員		100.00%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002		
積算単価				積算単価			EP001		
A=1	土砂			B=3	現場制約あり				

施工単価表

頁0 -0018

コンクリート

SPK22040144

単第0 -0010 表

小型構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

49.58%

材料構成比:

50.42%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

31,762.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	30.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.77%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	50.42%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=1 現場内小運搬有り K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK22040146

単第0 -0011 表

小型構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価: 7,866.70000

m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	45.15%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.47%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.34%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

頁0 -0020

人力投入埋戾工

SG1D0002001

單第0 -0012 表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

タンパ締固め

SPK22040021

単第0 -0013 表

1

m3 当り

機械構成比: 1.36% 労務構成比: 97.27% 材料構成比: 1.37% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,428.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg	1.36%		タンパ及びランマ 質量60～80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.37%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.37%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

頁0 -0022

上層路盤(歩道部)
全仕上り厚100mm 1層施工

SPK22040229

単第0 -0014 表

機械構成比: 5.59% 労務構成比: 65.31% 材料構成比: 29.10% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m2 当り 790.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.89%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.54%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	27.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	23.22%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	12.81%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粒度調整碎石 30～0mm	27.32%		再生粒度調整碎石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00010 TTPT00360
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.73%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

上層路盤(歩道部)

全仕上り厚100mm 1層施工

機械構成比: 5.59%

労務構成比: 65.31%

材料構成比: 29.10%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 790.10000

SPK22040229

単第0 -0014 表

1

m2

当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 D=1 全仕上り厚(mm) -(全ての費用)			B=1 RM-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0024

コンクリート

SPK22040144

単第0 -0015 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設 1 m3 当り
機械構成比: 0.00% 労務構成比: 39.30% 材料構成比: 60.70% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 26,628.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	23.11%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.22%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	60.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=1 現場内小運搬有り K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

頁0 -0025

運搬処分費

V0007

單第0 -0016 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 43.25% 労務構成比: 42.18% 材料構成比: 14.57% 市場単価構成比: 0.00%

SPK22040142
DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超)

単第0 -0017 表

1
標準単価:

m3 当り
1,395.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.57%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

施工単価表

頁0 -0027

発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)

SG1E0003002

單第0 -0018 表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

ダンプトラック運転
011 オンロード ディーゼル

SM2203010

単第0 -0019 表

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	22.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 2t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 2 t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 011 オンロード ディーゼル C=1 運転労務数量(人/日) E=1.29 機械損料数量(供用日/日)			B=1 2t積級 D=22 燃料消費量(L/日) F=1 路面状況:良好		

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-05.02.01(0)	凡例 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	31 下水道工事 (2) 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
管路施設(開削工法)					Y1101 レベル1
管きょ工(開削)	1	式			Y110101 レベル2
管路土工	1	式			Y11010101 レベル3
管路掘削	1	式			Y1101010101 レベル4
掘削 土砂 現場制約あり	8	m3			SPK22040001 00 単第0 -0001 表
人力運搬(積込み～運搬～取卸し) 換算距離40m以下(20m超)	8	m3			SPK22040022 00 単第0 -0002 表
管路埋戻	1	式			Y1101010102 レベル4
人力投入埋戻工	0.3	m3			SG1D0002001 00 単第0 -0003 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
人力投入埋戻工					SG1D0002001 00
	3	m3			単第0 -0005 表
発生土処理					Y1I01010103レベル4
	1	式			
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	9	m3			単第0 -0006 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費					F0001 00
	9	m3			
管布設工					Y1I010102 レベル3
	1	式			
硬質塩化ビニル管 【VP φ50】					Y1I01010203レベル4
	47.0	m			
硬質塩化ビニル管据付工 呼び径 50 mm					SQ100 00
	47.0	m			単第0 -0008 表
VP管 φ50					F0004 00
	47.0	m			

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
VP22 ° 1/2ベンド TS φ 50	3	個			F0005 00
VP45 ° 1/2ベンド TS φ 50	3	個			F0006 00
TSフランジ φ 50	1	個			F0007 00
TSフランジ用パッキン φ 50	1	個			F0008 00
ARパッキン φ 50	1	個			F0009 00
埋設標識テープ	47.0	m			Y1I01010216 レベル4
埋設表示シート 150 × 50 2 倍	47.0	m			F0014 00
管基礎工	1	式			Y1I010103 レベル3
砂基礎 【砂材料】	47.0	m			Y1I01010301 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
砂基礎工(人力施工)					SG1D0019001 00
	2	m3			単第0 -0009 表
再生砂					TTPC00011 00
	2	m3			
取付管およびます工					Y1I0104 レベル2
	1	式			
管路土工					Y1I010401 レベル3
	1	式			
管路掘削					Y1I01010101レベル4
	1	式			
掘削 土砂 現場制約あり					SPK22040001 00
	0.4	m3			単第0 -0001 表
人力運搬（積込み～運搬～取卸し） 換算距離40m以下(20m超)					SPK22040022 00
	0.4	m3			単第0 -0002 表
管路埋戻					Y1I01010102レベル4
	1	式			
人力投入埋戻工					SG1D0002001 00
	0.3	m3			単第0 -0003 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
人力投入埋戻工					SG1D0002001 00
	0.1	m3			単第0 -0005 表
発生土処理					Y1101010103レベル4
	1	式			
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	0.1	m3			単第0 -0006 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費					F0001 00
	0.1	m3			
ます設置工					Y11010402 レベル3
	1	式			
ます(塩化ビニル製)					Y1101040202レベル4
	1	箇所			
ます設置工 (塩化ビニル製) ます径 200mm					SG1D0088004 00
	1	箇所			単第0 -0010 表
取付管布設工					Y11010403 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
取付管(硬質塩化ビニル管)	1	箇所			Y1I01040302レベル4
取付管布設および支管取付工 管径 100mm	1	箇所			SG1D0089002 00 単第0 -0011 表
付帯工	1	式			Y1I0106 レベル2
舗装撤去工	1	式			Y1I010601 レベル3
舗装版切断	97	m			Y1I01060101レベル4
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	97	m			SPK22040303 00 単第0 -0012 表
舗装版破碎(小規模)	18	m2			Y1I01060103レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	1	m3			SDT00031 00 単第0 -0013 表
舗装版破碎積込(小規模土工)	18	m2			SPK22040018 00 単第0 -0014 表

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
人力運搬（積込み～運搬～取卸し） 換算距離40m以下(20m超)	2	m3			SPK22040022 00 単第0 -0002 表
殻運搬処理 Coガラ	1	m3			Y1I01060105レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超)	1	m3			SPK22040142 00 単第0 -0015 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
Coガラ処分費	3	t			F0003 00
殻運搬処理 ASガラ	1	m3			Y1I01060105レベル4
殻運搬 舗装版破砕 DID区間有り 運搬距離6.5km以下(5.0km超)	1	m3			SPK22040142 00 単第0 -0016 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
Coガラ処分費	3	t			F0003 00

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装復旧工	1	式			Y1I010603 レベル3
上層路盤(歩道部)	18	m2			Y1I01060305レベル4
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RM-30	18	m2			SPK22040229 00 単第0 -0017 表
コンクリート舗装	18	m2			Y1I01060310レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	1	m3			SPK22040144 00 単第0 -0018 表
舗装仮復旧工	1	式			Y1I010604 レベル3
表層(歩道部)	18	m2			Y1I01060409レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	18	m2			SPK22040238 00 単第0 -0019 表
仮設工	1	式			Y1I010601 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導員					Y1I01060101レベル4
	1	式			
交通誘導警備員B					R0369 00
	17	人			
* * 直接工事費 * * #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * * 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事費計 * *					
* * 契約保証費計 * *					

施工単価表

頁0 -0012

掘削

SPK22040001

單第0 -0001 表

土砂 現場制約あり

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 勞務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場單價構成比: 0.00%

標準単価：

5,616.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0013

人力運搬（積込み～運搬～取卸し）

SPK22040022

單第0 -0002 表

1

m3 当り

換算距離40m以下(20m超)

機械構成比: 0.00% 勞務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

4,968.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

人力投入埋戾工

SG1D0002001

單第0 -0003 表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0015

タンパ締固め

SPK22040021

単第0 -0004 表

1

m3 当り

機械構成比: 1.36% 労務構成比: 97.27% 材料構成比: 1.37% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,428.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg	1.36%		タンパ及びランマ 質量60～80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.37%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.37%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

頁0 -0016

人力投入埋戻工

SG1D0002001

單第0 -0005 表

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	23.0	人			
再生砂	126.300	m3			
タンパ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 再生砂			C=126.3	土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)	

施工単価表

頁0 -0017

発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)

SG1E0003002

單第0 -0006 表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

ダンプトラック運転
011 オンロード ディーゼル

2t積級

SM2203010

単第0 -0007 表

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	22.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 2t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 2 t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 011 オンロード ディーゼル C=1 運転労務数量(人/日) E=1.29 機械損料数量(供用日/日)			B=1 2t積級 D=22 燃料消費量(L/日) F=1 路面状況:良好		

施工単価表

頁0 -0019

硬質塩化ビニル管据付工

SQ100

單第0 -0008 表

呼び径 50 mm

10

m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0020

砂基礎工(人力施工)

SG1D0019001

單第0 -0009 表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

まず設置工 (塩化ビニル製)

SG1D0088004

單第0 -0010 表

箇所 当り

まず径 200mm

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

取付管布設および支管取付工
管径 100 mm

SG1D0089002

單第0 -0011 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

舗装版切断
コンクリート舗装版
機械構成比: 5.01% 労務構成比: 44.29% 材料構成比: 50.70% 市場単価構成比: 0.00%

SPK22040303
コンクリート舗装版厚15cm以下

単第0 -0012 表
1 m 当り
標準単価: 1,074.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 φ 56cm	3.39%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 φ 56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	15.33%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	6.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	48.42%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.54%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0024

鋪裝版切断

SPK22040303

單第0 -0012 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 5.01%

勞務構成比：

44.29%

材料構成比: 50.70%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

1,074.10000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

構造物とりこわし工(無筋構造物)

SDT00031

單第0 -0013 表

m3 当り

人力施工

[illegible]

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK22040018

単第0 -0014 表

機械構成比: 22.76% 労務構成比: 69.45% 材料構成比: 7.79% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,541.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	22.76%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	69.45%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.79%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 43.25% 労務構成比: 42.18% 材料構成比: 14.57% 市場単価構成比: 0.00%

SPK22040142
DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超)

単第0 -0015 表

1
標準単価:

m3 当り
1,395.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.57%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

施工単価表

頁0 -0028

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 19.63% 労務構成比: 71.11% 材料構成比: 9.26% 市場単価構成比: 0.00%

SPK22040142
DID区間有り 運搬距離6.5km以下(5.0km超)

単第0 -0016 表
1
標準単価: 4,825.00000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	19.63%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.11%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.26%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=30 運搬距離6.5km以下(5.0km超)		

施工単価表

頁0 -0029

上層路盤(歩道部)
全仕上り厚100mm 1層施工

SPK22040229

単第0 -0017 表

機械構成比: 5.59% 労務構成比: 65.31% 材料構成比: 29.10% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m2 当り 790.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.89%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.54%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	27.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	23.22%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	12.81%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粒度調整碎石 30～0mm	27.32%		再生粒度調整碎石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00010 TTPT00360
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.73%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

上層路盤(歩道部)

全仕上り厚100mm 1層施工

機械構成比: 5.59%

労務構成比: 65.31%

材料構成比: 29.10%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 790.10000

SPK22040229

単第0 -0017 表

1

m2

当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 D=1 全仕上り厚(mm) -(全ての費用)			B=1 RM-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0031

コンクリート

SPK22040144

単第0 -0018 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 39.30% 材料構成比: 60.70% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 26,628.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	23.11%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.22%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	60.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=1 現場内小運搬有り K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

頁0 -0032

表層(歩道部)

SPK22040238

単第0 -0019 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.55% 労務構成比:

52.09%

材料構成比: 47.36%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,732.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.42%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg	0.10%		振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	22.86%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	19.95%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	47.21%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPC00024 TTPT00293
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.09%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

施工単価表

表層(歩道部)

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

機械構成比: 0.55%

SPK22040238

1層当り平均仕上厚30mm

労務構成比: 52.09%

材料構成比: 47.36%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0019 表

1

標準単価:

m2

当り

1,732.30000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油		0.05%		軽油1.2号パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)				その他(材料)			EZ009
積算単価				積算単価			E9999
A=1 C=7 G=1 I=1	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 再生密粒度アスコン(13) -(全ての費用)			B=30 E=5 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) 瀝青材料無し -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)							

数 量 総 括 表

－和田処理分区マンホールポンプ新設工事（4-1工区）－

集計表

管きょ工（開削）

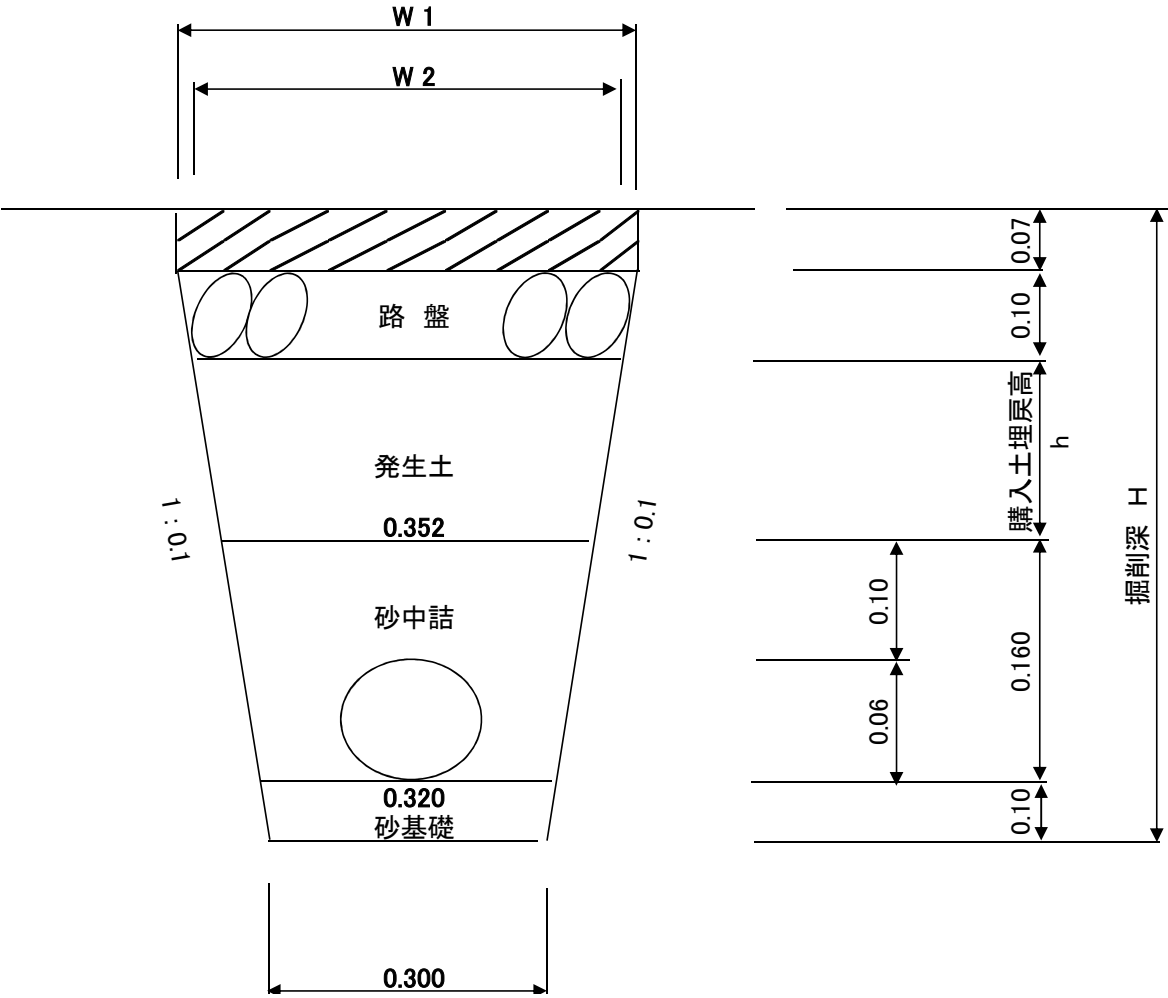
[illegible]

塩 び 管 管 布 設 工

[単 独]

(素掘り断面図)

里道(歩道)



工 種	名 称	7312												合 計	単位	数 量
管路土工																
管路掘削	人 力	0.4												0.4	m3	
管路埋戻																
発生土埋戻	人 力	0.3												0.3	m3	
砂埋戻し	人 力	0.1												0.1	m3	0
発生土処理																
発生土処理	(DT 2t)	0.1												0.1	m3	
取付管布設工																
取付管設置箇所		1												1	箇所	1
硬質塩化ビニル管	ブレンエント直管 (VUφ100)	0.70												0.70	m	1
	ゴム輪受口片受直管 (SRBφ100)														本	
90° 可とう支管	200-150														個	
60° 曲管	VUφ100														箇所	
自在継手	φ100	1												1	箇所	1
可とう継手	φ100														個	
取付管布設延長	VUφ100	1.00												1.00	m	1
樹設置工																
取付樹	塩化ビニル製 H=1.0m(100-150)	1												1	箇所	1
取付樹設置工	塩化ビニル製 H≤1.0(100-150)	1												1	箇所	1
樹蓋	塩ビ製蓋 (T-2)	1												1	箇所	1
	鋳鉄製防護蓋 (T-8)														箇所	
	φ200 内蓋	1												1	箇所	1
基礎碎石	RC-40 t=170	$\pi / 4 \times$													m2	

工種	名称	7312												合計	単位	数量
管路土工																
管路掘削	人力	0.4												0.4	m3	
管路埋戻																
発生土埋戻	人力	0.3												0.3	m3	
砂埋戻し	人力	0.1												0.1	m3	0
発生土処理																
発生土処理	(DT 2t)	0.1												0.1	m3	
取付管布設工																
取付管設置箇所		1												1	箇所	1
硬質塩化ビニル管	ブレンエント直管 (VUφ100)	0.70												0.70	m	1
	ゴム輪受口片受直管 (SRBφ100)														本	
90°可とう支管	200-150														個	
60°曲管	VUφ100														箇所	
自在継手	φ100	1												1	箇所	1
可とう継手	φ100														個	
取付管布設延長	VUφ100	1.00												1.00	m	1
樹設置工																
取付樹	塩化ビニル製 H≦1.0m(100-150)	1												1	箇所	1
取付樹設置工	塩化ビニル製 H≦1.0(100-150)	1												1	箇所	1
樹蓋	塩ビ製蓋 (T-2)	1												1	箇所	1
	鋳鉄製防護蓋 (T-8)														箇所	
	φ200 内蓋	1												1	箇所	1
基礎砕石	RC-40 t=170	$\pi / 4 \times$													m2	

取 付 管 工

()工区 補・単

道路幅員 = ~
 舗装表層厚 = 7 cm
 上層路盤厚 = 10 cm
 下層路盤厚 = cm

私道(車道)
 本管掘削幅 = 0.60 m
 舗装切断控除 0.30 m

φ100mm

路線名	数量		取付管延長	本管土被	a	b	c		a×b×c	支可	曲	自在継手	エブ レー ドン	S R B	カ ラ ー	可 とう 継 手	取付樹					蓋樹		人孔 番号	
	宅	道			掘削深	掘削幅	掘削延長	掘削土量	管う	管	H=						H=	H=	H=	H=	塩ビ製蓋	防護蓋			
																							箇所		箇所×m=
7312	右	1	1×1.00	1.00	1.00	0.90 0.83	0.63	1.00 — 0.3 × 1	0.7	0.4			1	0.7						1			1		
	左		x					— x																	
	右		x					— x															No		
	左		x					— x															No		
	右		x					— x															No		
	左		x					— x															No		
	右		x					— x															No		
	左		x					— x															No		
	右		x					— x															No		
	左		x					— x															No		
	右		x					— x															No		
	左		x					— x															No		
	右		x					— x															No		
	左		x					— x															No		
	右		x					— x															No		
	左		x					— x															No		
	右		x					— x															No		
	左		x					— x															No		
	右		x					— x															No		
	左		x					— x															No		
	右		x					— x															No		
	左		x					— x															No		
計	1			1.00					0.7	0.4	ケ	ケ	ケ	1	0.7	ケ	ケ	ケ	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	
配延	管長		1.00					1.00	キャップ										個						
掘	バックホー		0.4					0.4	プレーンエンド直管										m						
削	人 力							0.4	(0.570 × 0.20 — 0.10 ² × 0.785) × 0.7										0.3						
残	土		0.4 — (0.3 / 0.9) = 0.07					0.1	取付樹										箇所						

三原市

表工計集 帶付

工 種	名 称													合 計	単位	数 量
道路撤去工		7312														
舗装版切断																
コンクリート切断	t=20cm以下	96.80												96.80	m	97
アスファルト切断	t=20cm以下														m	
舗装版破砕 (既舗装) アスファルト取壊し (仮舗装) アスファルト取壊し	人力	18.4												18.4	m2	18
	人力 取壊し計	(既舗装)	+												m2	
(既舗装) コンクリート取壊し	人力	18.4	×	0.07			=	1.3						1.3	m3	1
般運搬処理																
アスファルト般処分	DT 2t(歩道部)														m3	
	DT 2t(仮舗装) t=3cm	18.40	×	0.03										0.6	m3	0.6
	DT 2t 般処分計		+	0.6										0.6	m3	0.6
	般重量	(m3) 0.6	×	2.35										1.41	t	1
コンクリート般処分	DT 2t(歩道部)	1.3												1.3	m3	1
	般重量	(m3) 1.3	×	2.35										3.06	t	3
道路復旧工																
不陸整正		18.4												18.4	m2	18
路盤工																
粒調碎石(M-30) (市道車道)	t=12cm														m2	
再生クラッシャーラン(RC-30) (市道車道)	t=10cm														m2	
(コンクリート舗装) 再生クラッシャーラン(RM-30) (歩道)	t=14cm	18.4												18.4	m2	18
表層工																
再生密粒度As (市道車道部表層)	(1.4≤b≤3.0) t=5cm(車道部)														m2	
セメントコンクリート	(b<1.4) t=7cm(歩道部)	18.4												18.4	m2	18
仮復旧	人力 t=3cm	18.4												18.4	m2	18

塩ビ管管布設付帯工 ()工区補・単								
里道(歩道) コンクリート								
路線 名	人 孔 番 号	人 孔 管 延 長 (m)	舗装切断工		路盤工		表層工	
			t = 0.07 m	m	t = 0.10 m	m ²	A=舗装幅員×延長	m ²
7312	281 ～ 289	48.40	2 × 48.40	96.80	0.38 × 48.40	18.4	0.38 × 48.40	18.4

一般労務費・技術者労務費表

工事名 和田処理分区マンホールポンプ新設工事(4-1工区)

宅内	技術者 (人)	電工 (人)	普通作業員 (人)		機械設備据付工 (人)	普通作業員 (人)	備 考
数量計算書	3.99	9.79	1.70				
電線管配管		0.95					
電線配線		2.10					
据付工数					1.12	0.07	
計	3.99	12.84	1.70		1.12	0.07	
設計数量	3	12	1		1	1	
	人	人	人		人	人	

工事名 和田処理分区マンホールポンプ新設工事(4-1工区)

《歩掛の根拠》 1.下水道用設計積算要項による

電氣數量計算書

工事名 和田処理分区マンホールポンプ新設工事(4-1工区)

[illegible]

工事名 和田処理分区マンホールポンプ新設工事(4-1工区)

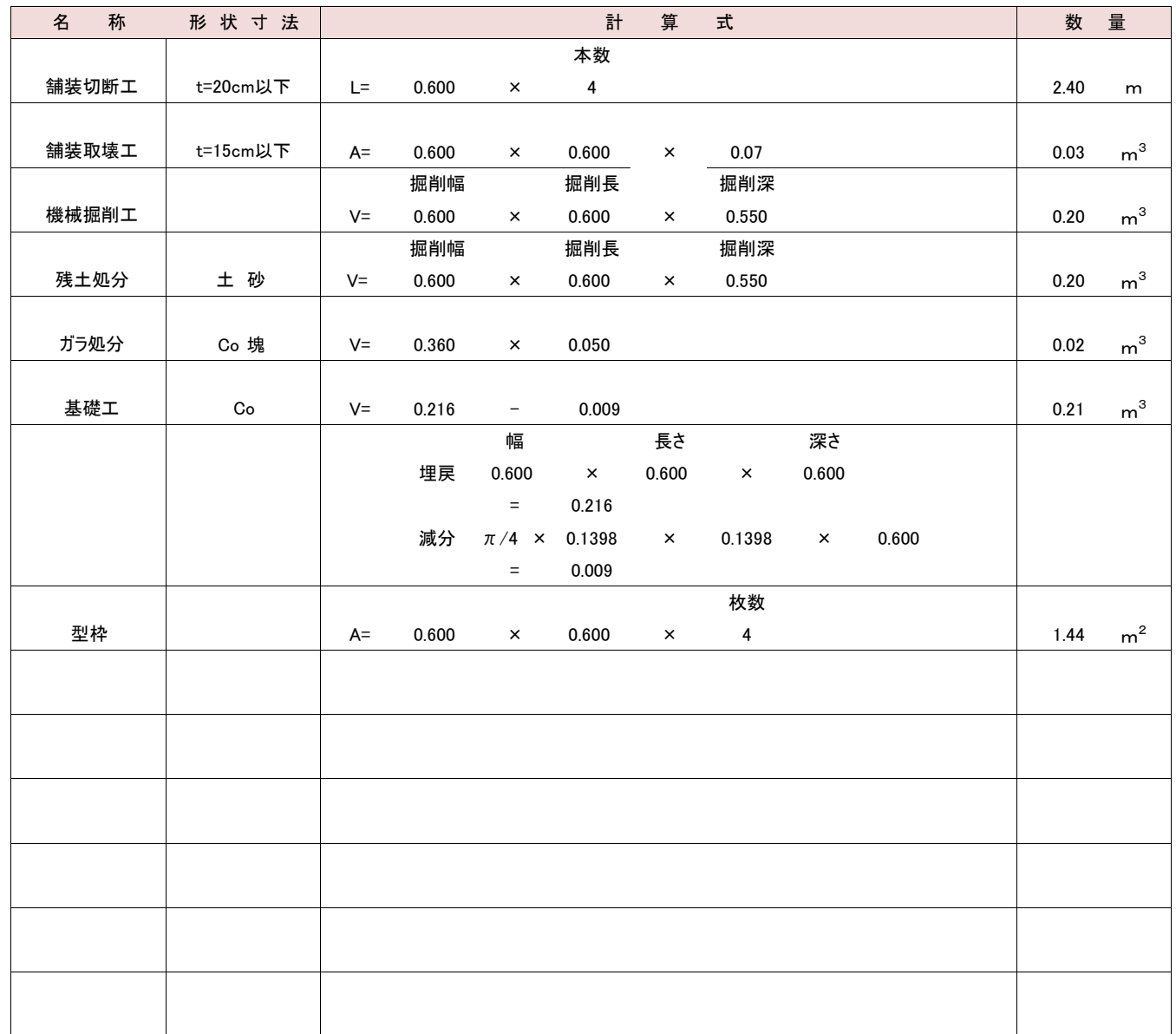
《注》 1. 下水道用設計積算要項による

材料集計表(配線)

工事名 和田処理分区マンホールポンプ新設工事(4-1工区)

配線区間		種類	VVR	CV	IV	IV	ポンプ付属ケーブルVCT	フリクト式水位計付属ケーブルCVF				人 工 数
		サイズ	5.5	3.5	3.5	5.5	1.25	0.3				
		芯数	2	2	1	1	3	2				
		本数					2	4				
自	至		m	m	m	m	m	m				
動力引込点	引込開閉器		4.00									
引込開閉器	制御盤			2.00	2.00							
制御盤	接地棒					4.00						
制御盤	マンホール						40.00	80.00				
合 計 数 量 (A)			4.00	2.00	2.00	4.00	40.00	80.00				
補 完 率 (B)			1.10	1.10	1.10	1.10	1.00	1.00				
合 計 (A) × 補 完 率 (B) (C)			4.40	2.20	2.20	4.40	40.00	80.00				
統計数量(小数点2位) (D)			4.40	2.20	2.20	4.40	40.00	80.00				
電 工	単 位 工 量 (E)		0.021	0.017	0.011	0.014	0.017	0.015				
	工 量 (D) × (E) (F)		0.09	0.04	0.02	0.06	0.68	1.20				2.10 人
下水道用設計積算要項 ポンプ場、処理場施設												
歩 掛 け の 根 拠			1	1	1	1	1	1				

《注》 1. 下水道用設計積算要項による



掘削
埋戻

Co
Co

舗装
舗装

舗装厚t=
舗装厚t=

0.050 m
0.050 m

土工延長

L=

1.20 m

土被り
深さ=

0.600

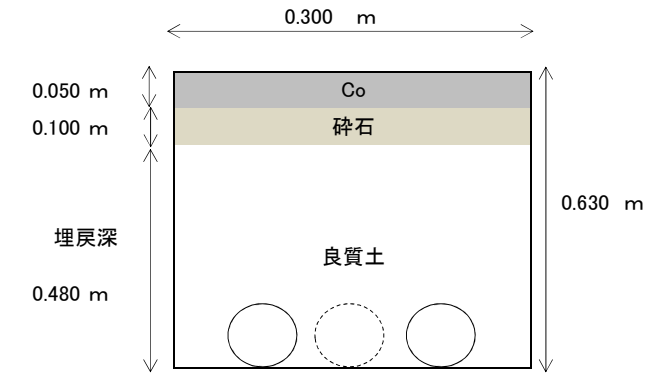
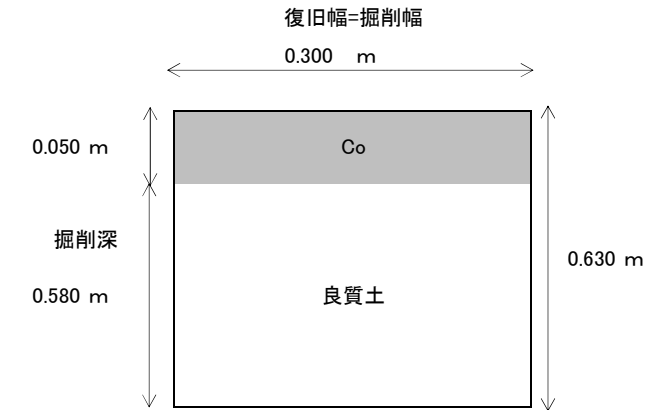
+

水位計用管φ
0.030

=

0.630

ポンプ用管φ
0.030



ポンプ用φ

0.030

2

本

水位計用φ

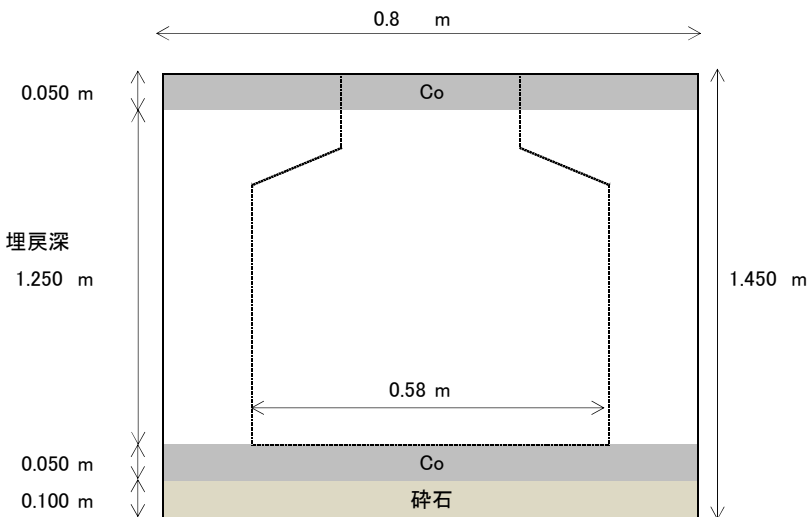
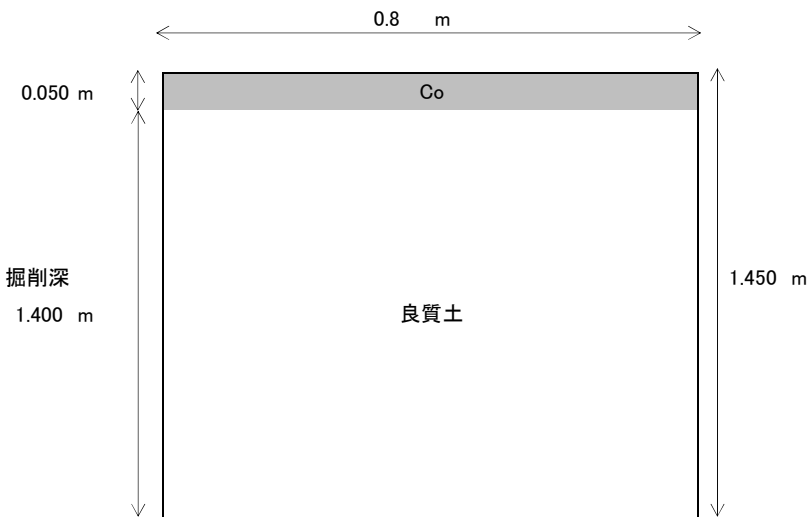
0.03

1

本

名 称	形 状 寸 法	計 算 式	数 量
舗装切断工	t=20cm以下	L= (1.20 + 0.30) × 2	3.00 m
舗装取壊工	t=15cm以下	A= 1.20 × 0.300 × 0.07	0.03 m ³
機械掘削工		掘削幅 掘削深 延長 V= 0.30 × 0.580 × 1.20	0.21 m ³
機械埋戻		埋戻幅 埋戻深 延長 埋戻 0.30 × 0.480 × 1.20 = 0.1728 減分 π / 4 × 0.030 × 0.030 × 1.20 × 2 = 0.002 減分 π / 4 × 0.030 × 0.030 × 1.20 × 1 = 0.001 V= 0.173 - 0.002 - 0.001	0.17 m ³
残土処分	土 砂	V= 0.21 - 0.17 / 0.9	0.02 m ³
ガラ処分	Co 塊	V= 0.36 × 0.05	0.02 m ³
復旧工	表層工	Co t= 0.070 mm	0.03 m3
	路盤工	砕石 t= 0.100 mm	0.36 m ²
埋設明示シート			1.20 m

掘削	Co	舗装	舗装厚t=	0.070	m		
埋戻	Co	舗装	舗装厚t=	0.070	m		
ユニット 寸法		0.58	×	0.99	m	#REF!	#REF!
ユニット 高				1.30	m		
長さ	L=	0.80	×	1.20	m		
深さ	D=			1.45	m		
復旧幅=掘削幅							



名 称	形 状 寸 法	計 算 式	数 量
舗装切断工	t=20cm以下	$L = (0.800 + 1.200) \times 2$	4.00 m
舗装取壊工	t=15cm以下	$A = 0.800 \times 1.200 \times 0.07$	0.07 m ³
機械掘削工		$V = 0.800 \times 1.200 \times 1.400$	1.34 m ³
機械埋戻工		$V = 0.800 \times 1.200 \times 1.250 - 0.580 \times 0.990 \times 1.250 = 1.20 - 0.72 = 0.48$	0.48 m ³
残土処分	土 砂	$V = 1.34 - 0.48 / 0.9$	0.81 m ³
ガラ処分	Co 塊	$V = 0.96 \times 0.05$	0.05 m ³
基礎型枠		$A = 0.800 \times 0.050 \times 2 + 1.200 \times 0.050 \times 2$	0.20 m ²
基礎工	Co t=	0.05 m	0.05 m3
基礎工	砕石 t=	0.10 m	0.10 m3
表層型枠		$A = \text{表層幅} \times \text{表層深} \times \text{枚数}$	m ²
復旧工	表層工	$\text{Co t= m} - \text{表層分 減分(蓋)}$	m ³
路盤工		$\text{砕石 t= m} - \text{表層分 減分(蓋)}$	m ³
土留工	アルミ矢板	$\times 2$	m
支保工	腹起し アルミ製	$\times 2$	m
切梁			

参 考 図

－和田処理分区マンホールポンプ新設工事（4-1工区）－



年次	人口		出生率		死亡率		自然增长率		性别比	出生人口性别比
	总人口	城镇人口	出生率	死亡率	出生率	死亡率	出生率	死亡率		
1949	10,000,000	1,000,000	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	100	100
1950	10,500,000	1,100,000	20.5	10.5	10.5	10.5	10.0	10.0	100	100
1951	11,000,000	1,200,000	21.0	11.0	11.0	11.0	10.0	10.0	100	100
1952	11,500,000	1,300,000	21.5	11.5	11.5	11.5	10.0	10.0	100	100
1953	12,000,000	1,400,000	22.0	12.0	12.0	12.0	10.0	10.0	100	100
1954	12,500,000	1,500,000	22.5	12.5	12.5	12.5	10.0	10.0	100	100
1955	13,000,000	1,600,000	23.0	13.0	13.0	13.0	10.0	10.0	100	100
1956	13,500,000	1,700,000	23.5	13.5	13.5	13.5	10.0	10.0	100	100
1957	14,000,000	1,800,000	24.0	14.0	14.0	14.0	10.0	10.0	100	100
1958	14,500,000	1,900,000	24.5	14.5	14.5	14.5	10.0	10.0	100	100
1959	15,000,000	2,000,000	25.0	15.0	15.0	15.0	10.0	10.0	100	100
1960	15,500,000	2,100,000	25.5	15.5	15.5	15.5	10.0	10.0	100	100
1961	16,000,000	2,200,000	26.0	16.0	16.0	16.0	10.0	10.0	100	100
1962	16,500,000	2,300,000	26.5	16.5	16.5	16.5	10.0	10.0	100	100
1963	17,000,000	2,400,000	27.0	17.0	17.0	17.0	10.0	10.0	100	100
1964	17,500,000	2,500,000	27.5	17.5	17.5	17.5	10.0	10.0	100	100
1965	18,000,000	2,600,000	28.0	18.0	18.0	18.0	10.0	10.0	100	100
1966	18,500,000	2,700,000	28.5	18.5	18.5	18.5	10.0	10.0	100	100
1967	19,000,000	2,800,000	29.0	19.0	19.0	19.0	10.0	10.0	100	100
1968	19,500,000	2,900,000	29.5	19.5	19.5	19.5	10.0	10.0	100	100
1969	20,000,000	3,000,000	30.0	20.0	20.0	20.0	10.0	10.0	100	100
1970	20,500,000	3,100,000	30.5	20.5	20.5	20.5	10.0	10.0	100	100
1971	21,000,000	3,200,000	31.0	21.0	21.0	21.0	10.0	10.0	100	100
1972	21,500,000	3,300,000	31.5	21.5	21.5	21.5	10.0	10.0	100	100
1973	22,000,000	3,400,000	32.0	22.0	22.0	22.0	10.0	10.0	100	100
1974	22,500,000	3,500,000	32.5	22.5	22.5	22.5	10.0	10.0	100	100
1975	23,000,000	3,600,000	33.0	23.0	23.0	23.0	10.0	10.0	100	100
1976	23,500,000	3,700,000	33.5	23.5	23.5	23.5	10.0	10.0	100	100
1977	24,000,000	3,800,000	34.0	24.0	24.0	24.0	10.0	10.0	100	100
1978	24,500,000	3,900,000	34.5	24.5	24.5	24.5	10.0	10.0	100	100
1979	25,000,000	4,000,000	35.0	25.0	25.0	25.0	10.0	10.0	100	100
1980	25,500,000	4,100,000	35.5	25.5	25.5	25.5	10.0	10.0	100	100
1981	26,000,000	4,200,000	36.0	26.0	26.0	26.0	10.0	10.0	100	100
1982	26,500,000	4,300,000	36.5	26.5	26.5	26.5	10.0	10.0	100	100
1983	27,000,000	4,400,000	37.0	27.0	27.0	27.0	10.0			

[illegible]

縣區	總人口	男性	女性	人口密度
臺北縣	1,234,567	612,345	622,222	1,234
基隆市	234,567	117,283	117,284	234
新竹市	123,456	61,728	61,728	123
桃園縣	1,567,890	783,945	783,945	1,567
苗栗縣	456,789	228,394	228,395	456
臺中市	1,789,012	894,506	894,506	1,789
彰化縣	1,012,345	506,172	506,173	1,012
南投縣	678,901	339,450	339,451	678
雲林縣	567,890	283,945	283,945	567
嘉義縣	456,789	228,394	228,395	456
台南縣	1,345,678	672,839	672,839	1,345
高雄縣	1,678,901	839,450	839,451	1,678
屏東縣	789,012	394,506	394,506	789
花蓮縣	234,567	117,283	117,284	234
台東縣	123,456	61,728	61,728	123
澎湖縣	67,890	33,945	33,945	67
金門縣	34,567	17,283	17,284	34
馬祖縣	12,345	6,172	6,173	12

